


Joie™

ECE R129/03 適合

適応身長 76cm-150cm

適応体重 9kg-36kg

適応月齢 15 ヶ月[※]から 12 歳頃まで

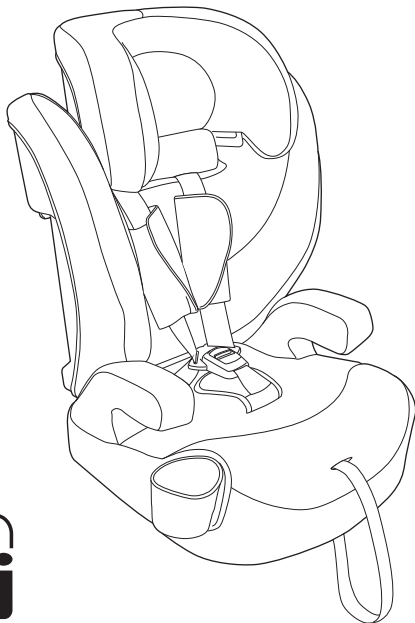
 **※生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。**

ジョイー・チャイルドシート

elevate™ R129

エレベート R129

取扱説明書 / 保証書



ECE R129/03 : i-Size

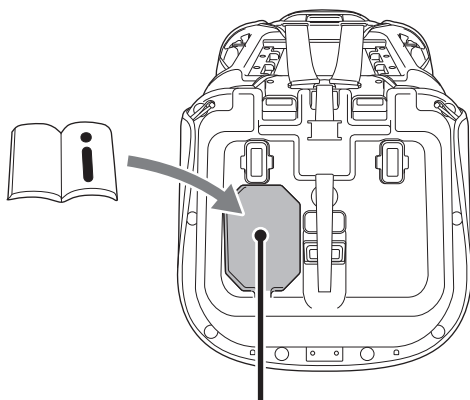
0623RV0

JP Welcome to Joie™

ジョイー・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



取扱説明書ホルダー

もくじ

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
チャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	5
自動車との適合について	6
本製品の情報	6
表記の説明	7
内容物の確認	9
各部の名称	10
自動車に関わる各部の名称	11
使用できるお子さまの条件	12
自動車の座席に関して	14
使用上の注意事項	19
緊急時の操作	30
組み立て	31
カップホルダー	36
基本的な使いかた	39
バックルの使いかた	39
ハーネスの長さ調節	41
ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節	42
ハーネスモードで使用する	44
自動車の座席への取り付け、固定	45
お子さまの乗せかた、調節のしかた	55
ブースターモードで使用する	61
ブースターモードへの切り替え	62
お子さまの乗せかた、調節のしかた	73
お手入れのしかた	86
カバー類、パッド類の取り外しかた	87
本体・ハーネス部のお手入れ	111
カバー類、パッド類のお手入れ	112
除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意	114
保管のしかた	114
廃棄のしかた	114
保証書	118

はじめにお読みください

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシートです。
身長 76cm ~ 150cm（生後 15 ヶ月から目安年齢 12 歳頃まで）のお子さまに使用することができます。

本製品は、本製品を自動車の 3 点式シートベルトで固定した上でお子さまに本製品のハーネスを装着して使用する「ハーネスモード」または本製品にお子さまを乗せて自動車の 3 点式シートベルトで装着、固定する「ブースターモード」で使用することができます。

いずれのモードにおいても、本製品を自動車の進行方向に対して前向きに固定してお子さまを自動車の進行方向に対して前向きにして着座させます。それぞれのモードによって、使用可能なお子さまの範囲と使用方法が異なりますので、本書の指示に従って正しくご使用ください。

危険

生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないこと

お子さまを適切に保護できないおそれがありますので、お子さまの身長が本製品の使用に適していたとしても（身長 76cm 以上）、生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、適切に使用することにより、**万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。**

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、チャイルドシートにおいて規定される条件に、適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態時には、直ちに応急処置を行い、医療機関にご相談ください。

自動車との適合について

本製品はECE R129/03 基準に適合したチャイルドシートです。

本製品は自動車の3点式シートベルトが装備された座席で使用することができますが、すべての車両、座席に取り付け可能とは限りません。

本製品を使用することができる車種、座席は弊社の発行する「車種適合一覧」に記載されています。

車種適合一覧は適宜更新されていますので、以下のホームページよりご確認ください。

カトージ ホームページ
katoji.co.jp



危険

車種適合一覧において取り付け、使用不可とされている座席では使用しないこと
本製品は、すべての車種、座席で使用できるとは限りません。車種適合一覧において取り付け、使用不可とされている座席では本製品が安全に機能しないおそれがありますので取り付け、使用しないでください。
また適合確認されている車種においても、座席の位置によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。

本製品の情報

ハーネスモード：3点式シートベルトによる固定

1：本製品をハーネスモードで使用する場合、本製品はECE R129/03 基準に適合したユニバーサル・ベルトテッド・エンハンスド・チャイルドレストレイントシステム（チャイルドシート）シートとして使用することができます。

主に自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と指定された座席で使用することができます。

2：実際にご使用になる前に、弊社発行の「車種適合一覧」をご確認ください。

3：ご不明点がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。

ブースターモード：3点式シートベルトによる固定

- 1：本製品をブースターモードで使用する場合、本製品はECE R129/03基準に適合した i-Size ブースターシート・エンハンスド・チャイルドレストレイントシステム（ブースターシート）として使用することができます。主に自動車の取扱説明書において「i-Size・シートポジション」と指定された座席で使用することができます。
- 2：実際にご使用になる前に、弊社発行の「車種適合一覧」をご確認ください。
- 3：ご不明点がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。




主な原材料
パテント番号

樹脂・金属・繊維
特許出願中



表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。


強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

本取扱説明書で使用するイラストについて

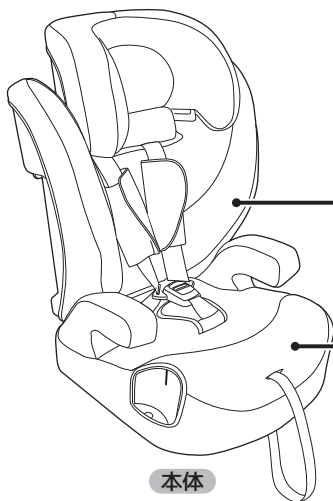
本取扱説明書で使用しているイラストはより理解しやすくするために大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。また品質向上のため、形状や使用する部材の仕様変更が行われる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

その他の表記について

表記	表記の内容
 ポイント!	この表記に付随して記載されている事項は本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また本製品をより便利に使用していただくための大切な情報ですので必ずご確認ください。

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体

シートバック

※ご使用前にベースとシートバックの組み立てが必要です。

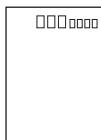
ベース



カップホルダー



本書



ユーザー登録はがき

警告

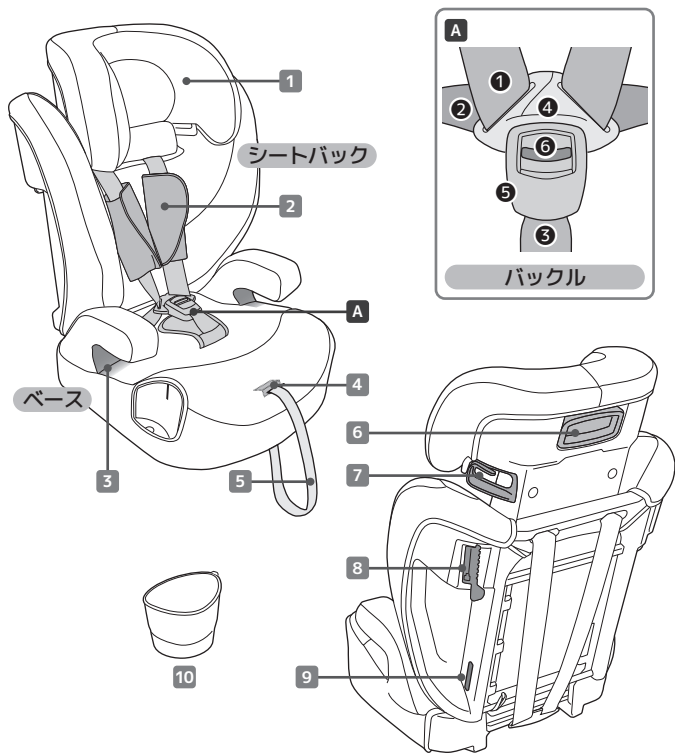
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



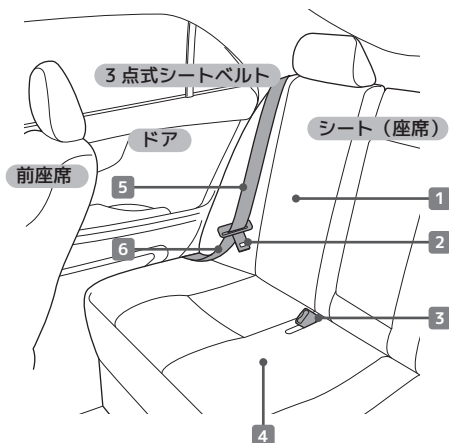
- 1 ヘッドサポート
- 2 肩ベルトパッド
- 3 腰ベルトパス (ブースターモード)
- 4 ベルトアジャスター
- 5 アジャスターベルト
- 6 ヘッドサポートアジャストレバー
- 7 肩ベルトガイド
- 8 ロックオフデバイス
- 9 腰ベルトパス (ハーネスモード)
- 10 カップホルダー

A バックル/ハーネス

- 1 肩ベルト } ハーネス
- 2 腰ベルト } }
- 3 股ベルト
- 4 差込みタンク
- 5 受けバックル
- 6 バックルリリースボタン

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



- 1 シート背もたれ
- 2 シートタンク
- 3 シートバックル
- 4 シート座面
- 5 シート肩ベルト
- 6 シート腰ベルト

👉 ポイント!

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて上図を参照してお車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は 2 種類のモードで使用することができますが、使用するモードにより使用できるお子さまの条件が異なります。いずれのモードでも自動車の 3 点式シートベルトを使用しますが、使用するモードによって使用方法、調節方法が異なります。それぞれ適切な状態にしてご使用ください。

⚠危険

生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないこと

お子さまを適切に保護できないおそれがあります。お子さまの身長が本製品の使用に適していたとしても（身長 76cm 以上）、いずれのモードであっても生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

ハーネスモード

- ・ お子さまの身長 76cm ～ 105cm / 体重 9kg ～ 21.5kg まで
- ・ 生後 15 ヶ月～目安として 4 歳頃まで
- ・ 本製品のハーネス / 3 点式シートベルトを使用

⚠危険

体重 21.5kg を超えたらハーネスモードでは使用しないこと


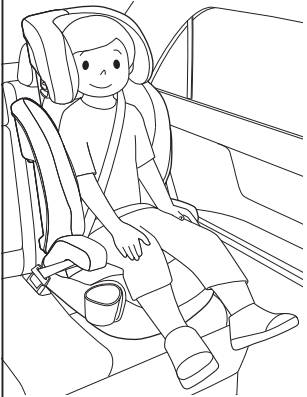
お子さまの体重が 21.5kg を超えた場合はハーネスモードでは使用しないでください。他の条件への適合をご確認の上、本書の指示に従いブースターモードに切り替えてご使用ください。

肩ベルトの高さを適切に調節できなくなった場合はハーネスモードでは使用しないこと

お子さまが成長して、ヘッドサポートを最も高い位置に調節してもお子さまの肩の位置が肩ベルトよりも高い位置になる場合はハーネスモードでは使用しないでください。本書の指示に従い、ブースターモードに切り替えてご使用ください。

ブースターモード

- ・ お子さまの身長 100cm ～ 150cm / 体重 15kg ～ 36kg まで
- ・ 3.5 歳頃～ 12 歳頃まで
- ・ 3 点式シートベルトを使用

モード	お子さまの条件※1	お子さまの固定※2
<p>ハーネスモード</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○身長76cm~105cm ○体重9kg~21.5kgまで ○生後15ヵ月※3~4歳頃まで 	<p>本製品のハーネス※4</p>
<p>ブースターモード</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○身長100cm~150cm ○体重15kg~36kgまで ○目安年齢※5 3.5歳頃~12歳頃まで 	<p>3点式シートベルト ハーネスは本体内に収納</p>

- ※ 1 いずれのモードも記載されているすべての条件を満たしたお子さまにご使用いただけます。
- ※ 2 本製品は ISOFIX 固定装置を使用しません。いずれのモードでも 3 点式シートベルトを使用します。
- ※ 3 お子さまが他の条件を満たしていても、生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。ハーネスモードの使用終期(4 歳頃まで)は目安となります。
- ※ 4 本製品を自動車の 3 点式シートベルトで固定し、お子さまは本製品のハーネスを装着します。
- ※ 5 ブースターモードの年齢制限は目安となります。身長と体重の条件を守ってお使いください。

⚠危険

条件に当てはまらない場合は使用しないこと

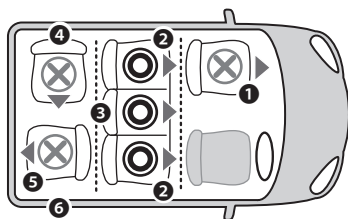
使用できるお子さまの条件は、本製品の適合する ECE R129/03 基準によって定められています。使用できる条件に満たない、またはこれを超えるお子さまの使用は大変に危険です。

ベース、シートバック（ヘッドサポート）を分離して使用しないこと

本製品はベースにシートバックを組み立てた状態でのみ使用することができます。ベースのみやシートバックのみの状態では使用しないでください。また、シートバックからヘッドサポートを取り外して使用することもできません。

自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き



- ① 助手席 × 使用不可※ 1
- ② 2 列目左右ドア側席 ○ 使用可能
- ③ 2 列目中央席 ○ 使用可能※ 2
- ④ 進行方向に向かって横向きの座席 × 使用不可
- ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 × 使用不可
- ⑥ 3 列目以降の左右中央座席 ○ 使用可能※ 3

- ※ 1 使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします。
- ※ 2 当社車種適合一覧において、中央座席に関しては適合調査をいたしておりませんが、3点式シートベルトが装備されていれば使用できる可能性があります。
- ※ 3 当社車種適合一覧においては適合調査をいたしておりませんが、3点式シートベルトが装備されていれば使用できる可能性があります。

危険

使用の可否の条件を守ること

前図のシート（座席）すべてで使用可能とは限りません。前図は座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

使用できる向きを守ること

本製品は、自動車の進行方向に向かって前向きの座席に、本製品を前向きにして設置して使用します。本製品を前向き以外の座席に設置したり、本製品を横向きや後ろ向きにするなどして使用してはいけません。

本製品は、ハーネスモードで使用する場合は自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と指定された座席、ブースターモードで使用する場合は自動車の取扱説明書において「i-Size・シートポジション」と指定されている座席でそれぞれ原則として使用可能ですが、諸条件により使用を推奨しない場合があり、また「ユニバーサル・シートポジション」、「i-Size・シートポジション」との表記がない座席でも使用可能な場合があります。本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、車種適合一覧で確認していただけます。

カトーJ ホームページ

katoji.co.jp

3点式シートベルトの使用

本製品は、いずれのモードで使用する場合も自動車の3点式シートベルトを使用します。2点式シートベルトや5点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。

使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべてのシート（座席）で使用できるものではありません。本製品を設置、使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と車種適合一覧を参照してください。

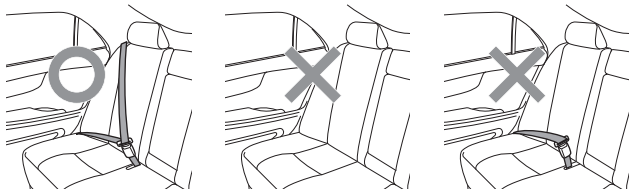
⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3 点式シートベルト以外の座席

本製品は、自動車の3点式シートベルトを使用します。シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルトや4点式、5点式シートベルトでは使用できません。

本製品は3点式シートベルトが装備された座席で使用してください。



助手席

当社では助手席でのチャイルドシートの使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にお子さまがダッシュボードにぶつかったりするほか、通常使用時においても運転に支障をおよぼすおそれがありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

車種適合一覧で取り付け、使用不可となっている車種または座席

本製品の車種適合一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。ご購入前に車種適合一覧をご確認ください。

本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席や幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席やドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、自動車の座席の可動操作に干渉する座席では、本製品が安定しないため取り付けられないください。また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、車種適合一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。

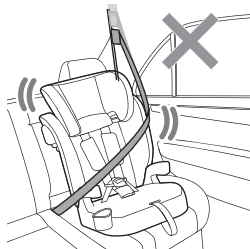


⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着されるパッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



安定しない座席や、座席やドアの開閉に干渉する座席

安定しない座席や設置、使用時に本製品の角度に異常が生じる座席、可動式の座席で座席を動かした際に本製品に干渉する座席、自動車のドアの開閉時に干渉する座席では使用しないでください。

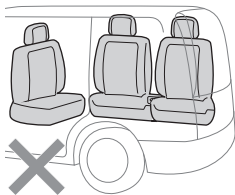
本製品の設置操作中に移動する座席

本製品の設置、固定操作中に動く座席には取り付けしないでください。

進行方向に対して前向き以外の座席

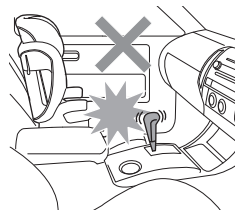
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席でのみ使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では使用しないでください。本製品は、車種適合表において取り付け可能と指定されている車種、座席でのみ使用可能です。



本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる座席やサイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与えて自動車の安全な運転操作に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席で取り付け、使用してください。



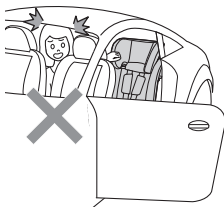
⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態ですべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかをあらかじめ確認してください。



チャイルドシートの固定に適さないシートベルトが装備された座席

本製品は、ECE R16 基準または同等の基準に適合した3点式シートベルトを使用します。輸入車を含めて近年の殆どの車両では問題なく使用できますが、古い年式の車両、特殊な車両、一部の輸入車などにおいては、チャイルドシートの固定に適さない3点式シートベルトが装備されていることがあります。

自動車の取扱説明書において、特殊なチャイルドシートのみ使用が認められている場合や、チャイルドシートの固定に関する記述がないなどの場合、本製品は使用しないでください。

使用上の注意事項

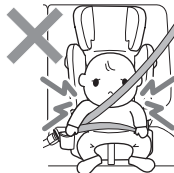
本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

使用できるお子さまの条件を厳守すること

本製品は、適合する基準により使用できる条件が定められています。本書記載の「使用できるお子さまの条件」を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。使用するモードにより使用できるお子さまの条件が異なりますので、本書をよくお読みいただき正しくご使用ください。



正しく自動車の座席に固定して適切に使用すること

本製品を適切に使用しないと、急カーブ、急停止、衝突などの衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示通りに設置、固定し、指示以外の荷重接点は使用しないでください。また本製品を設置する自動車の取扱説明書の内容を理解し、その指示に必ず従ってください。

本製品では、使用するモードにより自動車の座席への設置方法が異なりますので、それぞれのモードに応じて正しく適切に設置、固定、使用してください。

本製品の設置場所に注意すること

本製品を固定、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認してください。

取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと

重大な事故につながるおそれがありますので、本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での設置、固定、使用はしないでください。

本取扱説明書は本製品底面の取扱説明書ホルダーに常時保管しておくこと

本書は、必要な時にいつでも参照できるよう所定の取扱説明書ホルダーに入れて保管してください。使用方法を記憶したとしても本製品を使用する場合は常に本書を必ず携行してください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

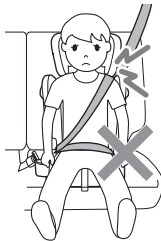
本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしてもお子さまに操作をさせないでください。それぞれのモードに応じて正しく適切に使用してください。また、大人であっても第三者が本製品を使用する場合には、本書を必ず参照して本製品を正しく使用できるようにしてください。

短距離、短時間の移動でも本製品を使用すること

多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のため本製品を正しく使用してください。

体型が合わない場合は使用しないこと

「使用できるお子さまの条件」に規定された範囲内でも、お子さまが成長してシートベルトの位置が正しく調節できないなど、正しくお子さまを乗せるとシートベルトやハーネスを正しく装着できなくなった場合には所定の安全性能を発揮できませんので、本製品の使用は中止してください。



お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトやハーネスを間違えて使用したり、無理な姿勢で座らせたり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。

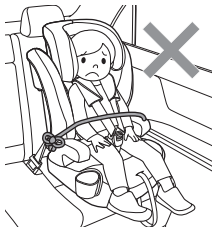


⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定する方法以外で使用しないこと

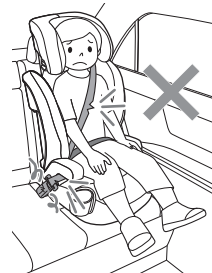
本製品の固定やお子さまの固定のために、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。ハーネスまたはシートベルトを装着した上に、これらのもので補強してもいけません。ハーネス、シートベルトが正しく使用されていても、これらのものがお子さまの首や身体に引っかかったり、ハーネスやシートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



シートベルト（シートバックル・シートタング）に損傷がある場合は使用しないこと

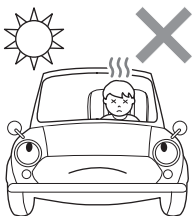
交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。

また、ハーネスモードで使用する場合も同様に、本製品のハーネス/バックルに損傷がある場合には使用しないでください。



お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりハーネスやシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品の使用や取り付けに関わるベルト（ハーネス、シートベルト）類は、ゆるみのないようにすること

ハーネス、シートベルトにゆるみがないようにして本製品をご使用ください。

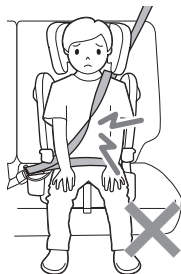
⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しくハーネスやシートベルトを装着すること

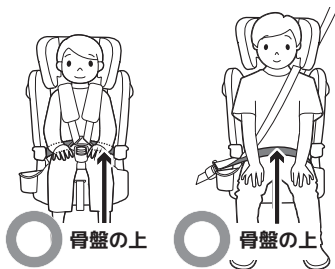
ハーネスやシートベルトをねじらないこと

お子さまが装着するハーネスやシートベルト、本製品を自動車の座席に固定するためのシートベルトにねじれがあると本製品が安全に機能しません。本製品を正しく調節して、ハーネスやシートベルトにねじれがないことを確認してしっかりと締め付け、いずれの場合もしっかりとバックルを留めて正しく使用してください。



ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際にお子さまにかかる衝撃を骨盤でしっかりと受け止めるため、ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通して適切に締め付けるようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内蔵の損傷や骨折の危険性が高まります。



生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないこと

お子さまを適切に保護できないおそれがあります。お子さまの身長が本製品の使用に適していたとしても（身長 76cm 以上）、いずれのモードであっても生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

体重 21.5kg を超えたらハーネスモードでは使用しないこと

お子さまの体重が 21.5kg を超えた場合はハーネスモードでは使用しないでください。本書の指示に従い、ブースターモードに切り替えてご使用ください。

⚠危険

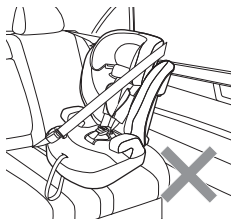
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

EPP / EPS フォーム（白い衝撃緩衝材）を取り外さないでください

本製品の内部に取付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

前向き以外にして使用しないこと

本製品は自動車の進行方向に向かって前向きにして使用します。後ろ向きや横向きなど、前向き以外の状態では使用できません。



部品を取り外した状態で使用しないこと

本製品に破損や異常がある場合は使用しないこと
交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



カバー類、パッド類を取り外した状態では使用しないこと

本製品が正しく機能せず、お子さまが機構部に手指を入れるなどして重大な事故に繋がるおそれがあります。カバー類は必ず取り付けた状態で使用してください、またハーネスモードで使用する場合は、カバー類の他、肩ベルトパッド、股ベルトパッドも必ず取り付けてご使用ください。

本製品にお子さまを乗せた状態で持ち運ばないこと

正しくハーネスを装着していたとしても、お子さまが落下したり窒息するおそれがあります。本製品を持ち上げる、持ち運ぶ、移動させる場合は、お子さまを本製品に乗せずに行ってください。

本製品にお子さまを乗せたまま放置しないこと

いかなる場合でも、本製品にお子さまを乗せた状態で放置しないでください。屋内に本製品を置く場合もお子さまの手が届かないようにご配慮ください。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用しないでください。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は、保証の対象外となり、また安全性が担保できないため、修理もできませんので、新しい製品をご購入いただく必要があります。



走行前には本製品の状態を確認すること

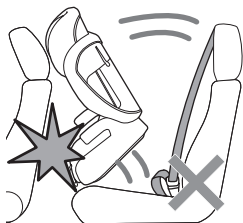
お子さまや他の乗員などが本製品に触れたり、座席を操作したりするなどして本製品の固定状態が変化しているおそれがあります。走行前には、必ず本製品が適切な状態にあるかどうかを確認してください。本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

本製品にお子さまを乗せて使用しない場合、自動車の座席に本製品が固定されていないと、通常走行や交通事故や急制動の際に本製品が移動して運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

自動車に本製品を乗せる際には、シートベルトで自動車の座席に固定するか車外に出すなどして、自動車の運転中に本製品が車内で移動しないようにしておいてください。

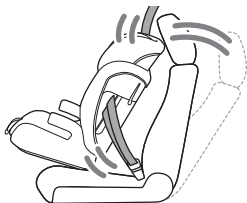


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品を設置した後に、自動車の座席のリクライニング操作または座席の前後の移動、調整をした場合には、本製品の状態を確認すること

本製品を設置、固定した後に、自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、設置、固定状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、必ず本製品の設置、固定の状態を確認して本製品が正しい状態になるようにしてください。



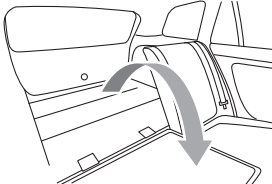
本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品は、正しく使用することにより自動車の座席にくぼみや傷が生じ、取り付け痕が残る可能性があります。本製品を安全に機能させるために生じるものですので、あらかじめご了承ください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること
自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



バックルが正しく留まっているか適宜確認すること

お子さまがバックルに触れると、バックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまには、ハーネスモードの場合は本製品のバックルに、またブースターモードの場合にはシートバックルに、それぞれ触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。



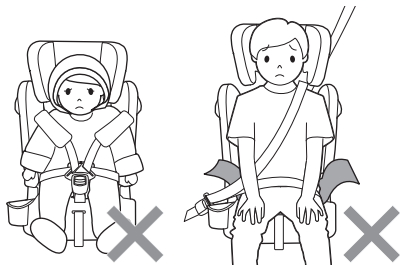
警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない（ハーネスやシートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にハーネスやシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。

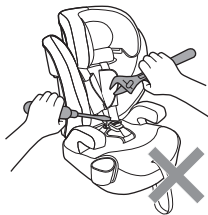
また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



本製品を分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をはいけません。また指定外の部品に交換したり、他社製の部品や製品を追加して取り付け使用しないでください。

型式承認機関の承認を得ずに、本製品を改造、改善、修繕を行うことはできません。



指定外のアクセサリーを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用とされている、当社指定外の市販のマットやソフトクッション、パッドなどを本製品に追加して使用しないでください。

また、3点式シートベルトが安全に機能しなくなるおそれがありますので、シートベルトの長さを調節する器具や、肩ベルト、腰ベルト用のパッドなどの市販のアフターマーケット品をシートベルトに取り付けてはいけません。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります

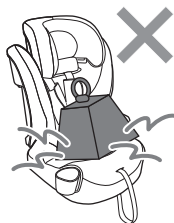
本書、本製品本体で指示されている荷重保持接点（シートベルトの通し位置や経由点など）以外を使用しないでください。

カップホルダーに熱い飲料を入れないこと

自動車の揺れや制動、走行時の振動により中身の飲料がこぼれ、ヤケドや汚損のおそれがあります。カップホルダーには蓋をしたペットボトルなどの飲料を入れてください。

過度の負担を掛けないこと

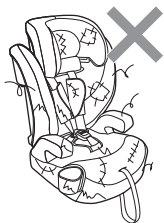
本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしないでください。本製品に強い衝撃が加わったり損傷した場合は使用を中止してください。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明であり、目には見えないキズがあったり劣化が生じているおそれがあります。劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。

安全のため、使用しなくなった本製品は再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、自動車内で使用するチャイルドシート、ブースターシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、本来の目的以外で使用する、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。

なお本製品は、背もたれ部（シートバック）が固定されませんので、椅子として使用すると危険です。お子さまがシートバックにもたれかかるとシートバックが外れて背中側に倒れるおそれがあります。重大な事故につながるおそれがありますので、絶対に目的外では使用しないでください。

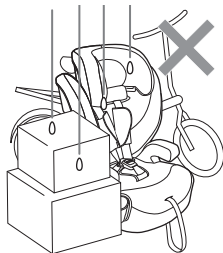


⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



⚠注意

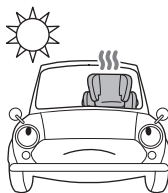
以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

本製品のハーネスやバックルの挟み込みに注意すること

本製品のハーネスやバックルを車の座席やドアに挟み込んだり、引っ掛けたりしないように注意してください。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないかを確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

自動車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に潤滑油を使用してはいけません（特に稼働部、接合部）。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

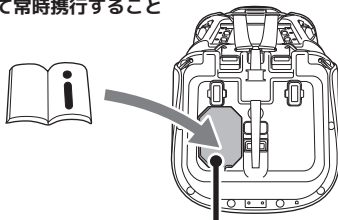


トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクで保管する場合は、上に他の物を載せないようにしてください。

疑問点がある場合は、販売店、チャイルドシートメーカーにお問い合わせください。補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

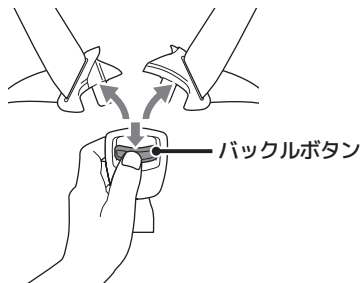
本書は本製品の所定の場所に収納して常時携行すること
必要なときにいつでも参照できる
ように、本書は本製品のベース底
面にある取扱説明書ホルダーに収
納しておいてください。



取扱説明書ホルダー

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、ハーネスモードの場合はあわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外して速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。その上で直ちにお子さまの応急処置を行い医師の診断を受けるようにしてください。



- ハーネスモードで本製品のバックルボタンが機能しない場合は、自動車のシートベルトのシートバックルを外してロックオフデバイス、腰ベルトパスからシートベルトを抜き、本製品ごとお子さまを車外に脱出させてください。
- ハーネスモードで本製品のバックルもシートバックルも機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断してお子さまを車外に脱出させるか、お子さまを本製品のハーネスに装着させたまま自動車のシートベルトを切断して本製品ごとお子さまを車外に脱出させてください。

- ブースターモードの場合は、シートバックルを外してお子さまを車外に脱出させてください。
- ブースターモードでシートバックルが機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用して自動車のシートベルトを切断してお子さまを車外に脱出させてください。

お子さまの脱出の際にハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。

組み立て

ご使用前に本製品を組み立てます。以下の手順に従って正しく組み立ててください。

⚠危険

正しく組み立てて使用すること

接合部が正しく固定されていないか、ハーネス、ベルト類にねじれがあったりすると、本製品が正しく機能しません。必ず正しく組み立てて使用してください。

⚠注意

組み立て作業中は、お子さまを近づけないこと

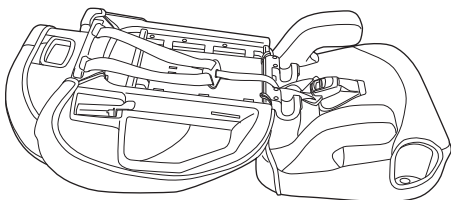
お子さまが挟まれてケガをするおそれがあります。本製品の組み立ては、自動車内では行わず、室内の安全な場所で、お子さまを近づけないで行ってください。

カバー類の挟み込み、干渉にご注意ください

カバー類の生地やパッド類に挟み込みや干渉があると本製品が正しく組み立てられず損傷するおそれがあります。組み立て操作中は、カバー類を接合部に挟まれたり干渉したりしないようご注意ください。

01

本製品は、箱から取り出した状態で下図のようになっています。以下では箱から取り出した状態からの組み立て方法を説明します。

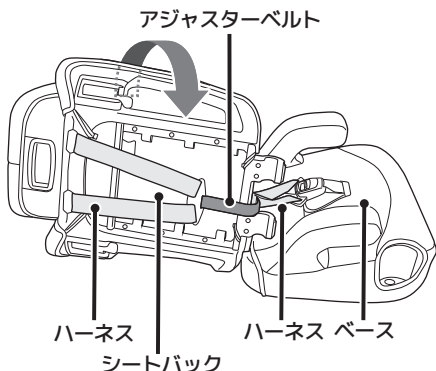


⚠注意

シートバックとベースはハーネスで繋がっています
シートバックとベースは接合されてはいませんが、ハーネスによって繋がっています。どちらか一方を持ち上げると他方がぶら下がりますので、注意してください。

02

ベースを上に向けた状態にして、シートバックを下図の向きに 180 度回転させます。



👉ポイント!

箱から取り出した状態ではない場合、ハーネスやベルト類にねじれがないことを確認して組み立ててください。

参照 P35 ▶ 06

回転させにくい場合はバックルを外すと回転させやすくなります。ただしバックルを外すと回転時にハーネスがねじれたりシートバックに引っかかったりするおそれがありますのでご注意ください。

⚠注意

上図の向きでのみ回転可能です

箱から出した状態の場合、シートバックを反対向きに回転させることはできません。シートバックを反対向きに回転させるとベルト類（背面部のアジャスターベルト）にねじれが生じます。

ハーネスやアジャスターベルトにねじれが生じると本製品が正しく機能しません。

03

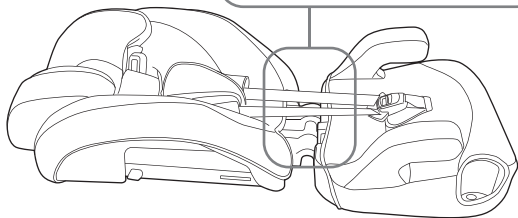
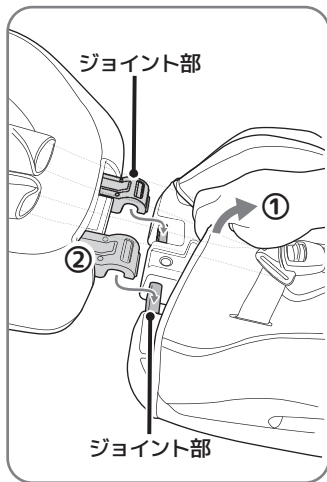
①ベースのシートカバーをめくり、②シートバックのジョイント部（左右）を、ベースのジョイント部左右それぞれに合わせてはめます。

シートバックのジョイント部のU字部分をベースのジョイント部に合わせるようにしてはめて下さい。

⚠注意

ベースのカバー生地を挟まないように注意してください

ジョイント部にカバー生地が掛かっていると正しくシートバックとベースを固定することができません。

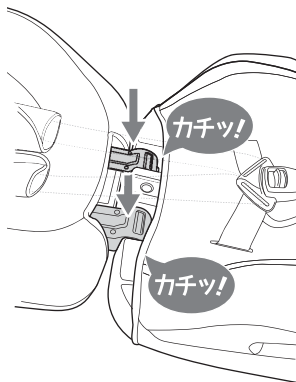


04

そのままシートバックのジョイント部を強く押し込んで、ジョイント部を固定します。左右ともカチッと音がしてしっかりと固定されたことを確認してください。

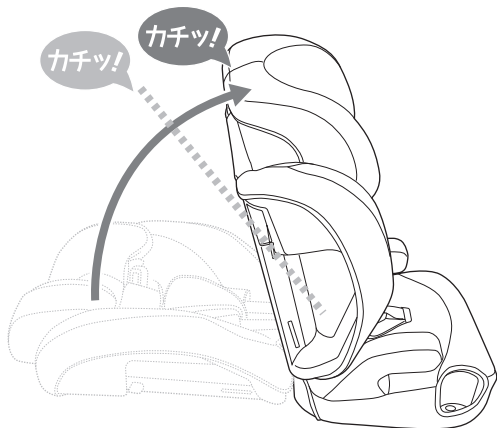
⚠注意

ジョイント部は確実に固定してください。ジョイント部が正しく固定されていないと、シートバックがベースから外れてしまい、次の操作ができません。



05

シートバックを立てます。途中で聞こえる最初のカチッと音の時点ではシートバックは固定されていないので、そのまま2回目のカチッと音が聞こえるまでシートバックをさらに立ててください。



 **ポイント!**

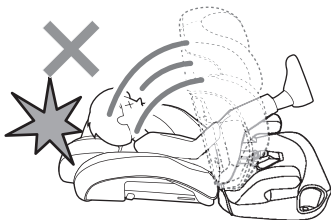
シートバックとベースのジョイント部が正しく固定されていない場合、シートバックを立てる操作の途中でシートバックとベースが外れてしまいます。このような場合はもう一度 03～04 の操作を行って、シートバックとベースを正しく固定してから 05 の操作を行ってください。

 **警告**

お子さまを絶対に座らせないでください

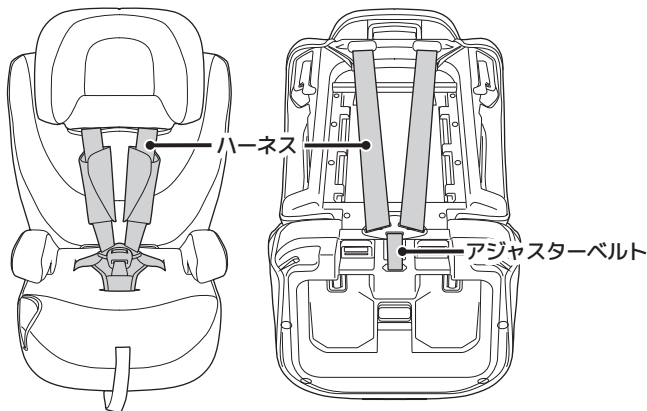
本製品は、自動車のシート背もたれの角度にあわせてシートバックの角度を調節して使用しますので、シートバックはベースに完全には固定されません。

本製品を椅子として使用するなど、自動車の座席に正しく設置せずにお子さまを座らせると、シートバックが後方に倒れて大変に危険です。



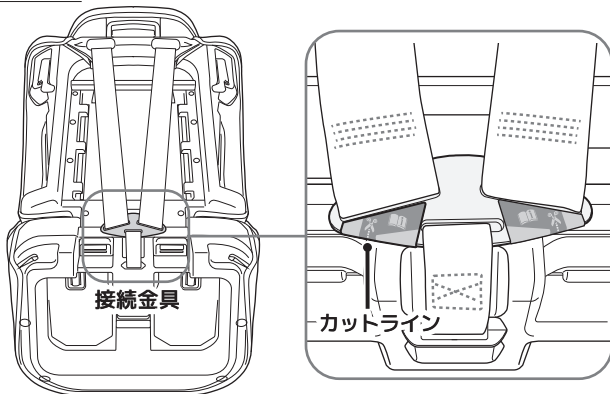
06

正面、背面から見てハーネスおよびベルト類にねじれがないことを確認します。ねじれがある場合は操作をやり直してください。



👉ポイント!

背面でハーネスとアジャスターベルトを繋いでいる接続金具には、ハサミの絵図（誤使用を防止するためのカットライン）が表記されています。本製品をハーネスモードからブースターモードに切り替えて使用する場合にハサミでカットするための目印となります。ブースターモードに切り替えて使用するまではカットしないようにしてください。



カップホルダー

本製品にはカップホルダーが付属しています。安全のためカップホルダーの使用の有無に関わらず所定の位置に取り付け、固定しておいてください。



⚠ 警告

カップホルダーに熱い飲料を入れないこと

自動車の揺れや制動、走行時の振動により中身の飲料がこぼれ、ヤケドや汚損のおそれがあります。カップホルダーには蓋をしたペットボトルなどの飲料を入れてください。

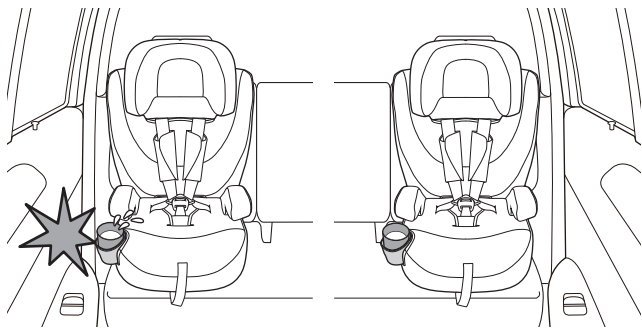
⚠ 注意

カップホルダーを取り付けて使用してください

お子さまがカップホルダーの取り付け部に手指を差し込むなどしてケガをするおそれがあります。カップホルダーの使用の有無に関わらず正しくカップホルダーを取り付けておいてください。

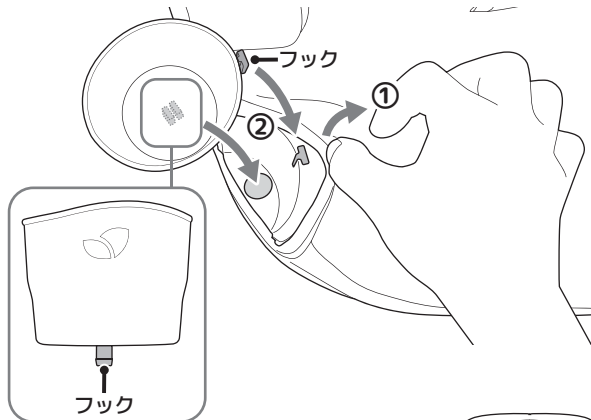
👉 ポイント!

カップホルダーがドア側の座席になる場合（右ハンドル車の場合は運転席後ろの座席）は、ドアの開閉の振動によりカップホルダーの中身がこぼれやすくなりますのでご注意ください。



01

①カップホルダーの取り付け部のカバーをめくり、②カップホルダー側面と底面のフックを、それぞれベースの取り付け部に差し込みます。

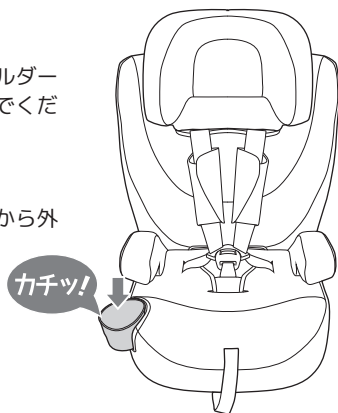


02

そのまま、カチッと音がしてカップホルダーがしっかりと固定されるまで押し込んでください。

03

カップホルダーを引き上げててもベースから外れないことを確認します。



👉ポイント!

正しくカップホルダーを差し込むと、きつく固定されますので簡単には外せません。取り外す際は、ケガをしないように注意してカップホルダーの底面を強く押し上げてください。

基本的な使いかた

ここでは本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるお子さまの体重や体格、月齢に合わせて本製品を調節してください。

⚠危険

適切に使用すること

不適切な使用は重大な事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じた調節を行い正しくお使いください。

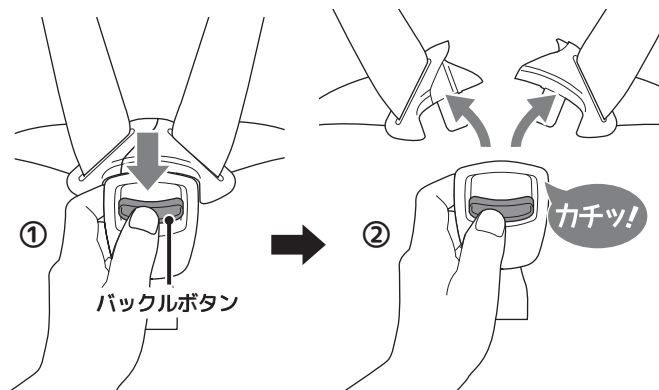
バックルの使いかた

ハーネスモードで使用する場合は、お子さまは本製品のバックルを装着します。ブースターモードで使用する場合は、バックルは使用しません。

バックルの外しかた

01

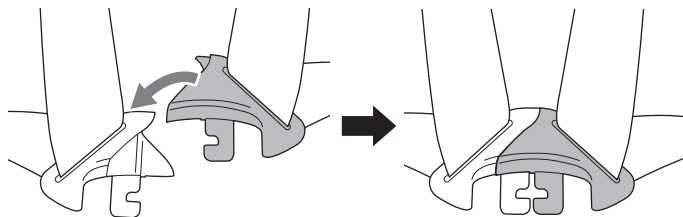
バックルを外すには①バックルボタンを押し下げます。②カチッと音がして左右の差込みタングが外れます。



バックルの留めかた

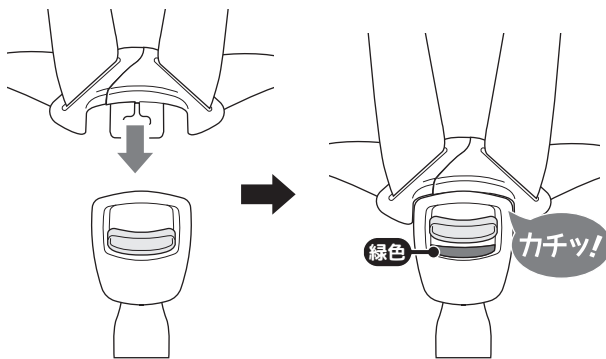
01

左の差込みタングの上に右の差込みタングを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



02

そのまま差込みタングを受けバックルに差し込みます。カチッと音がするまで差し込みます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されたことを確認してください。



03

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

👉ポイント!

ハーネス、股ベルト、バックルはハーネスモードでのみ使用します。ブースターモードでは、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておいてください。

ハーネスの長さ調節

ハーネスモードで使用する場合、お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてお子さまをしっかりと固定できるようにハーネスの長さを調節します。

⚠危険

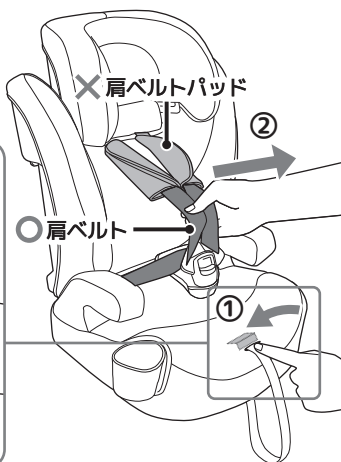
適切に調節すること

ハーネスは必ず適切な長さに調節してください。ハーネスが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると事故や衝撃の際にお子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

肩ベルトをゆるめるには、①シートの前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。

肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



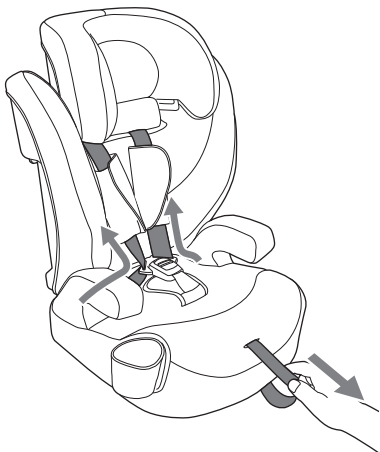
02

アジャスターベルトを手前に引くと、肩ベルトが締まります。

⚠注意

アジャスターベルトはゆっくりと引いてください

勢いよく強くアジャスターベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。またハーネスが締めすぎると、お子さまに負担が掛かります。肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の手のひらを差し込める程度に締め付けてください。



ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

ヘッドサポートと肩ベルトの高さ調節は連動しています。ヘッドサポートの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

ハーネスモードで使用する場合はハーネスの肩ベルトの高さを調節します。ブースターモードで使用する場合は自動車のシートベルトの肩ベルトを通す肩ベルトガイドの高さを調節しますが、いずれの高さの調節も操作方法は同様です。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

⚠危険

適切な高さ調節すること

ヘッドサポートはお子さまの身長に合わせて必ず適切な高さ調節してください。高すぎたり低すぎたりすると、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したりシートベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

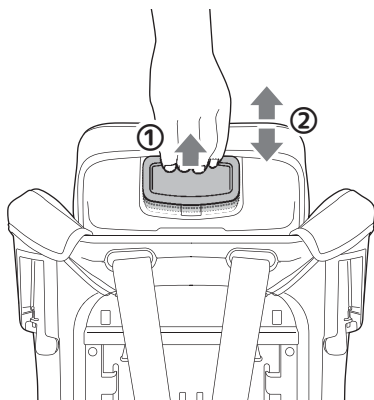
ヘッドサポートの調節時には少しお子さまを前かがみにさせてください

お子さまの負担を軽減し、正しくヘッドサポートの高さを調節するために、お子さまを乗せた状態でヘッドサポートの高さを調節する際にはお子さまを少し前かがみにさせてください。



01

ヘッドサポートは10段階で高さの調節ができます。①ヘッドサポートアジャストレバーを握り、②ヘッドサポートを上下に動かして高さを調節します。目的の高さでヘッドサポートアジャストレバーから手を離すとその高さでヘッドサポートが固定されます。



02

ヘッドサポートを軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認してください。

👉ポイント!

ハーネスが短い状態で調節されていると、ヘッドサポートが上方向に動かしにくくなります。この場合はハーネスをゆるめてください。

参照 P42 ▶ハーネスの長さ調節▶ 02

ハーネスモードで使用する



身長	76cm～105cm
体重	9kg～21.5kgまで
月齢	生後15ヵ月を過ぎてから 目安4歳頃まで
座席への 取り付け	3点式シートベルト
お子さまの 固定方法	本製品のハーネス

⚠️危険

生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないこと

お子さまを適切に保護できないおそれがあります。お子さまの身長が本製品の使用に適していたとしても（身長 76cm 以上）、いずれのモードであっても生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

体重 21.5kg を超えたらハーネスモードでは使用しないこと

お子さまの体重が 21.5kg を超えた場合はハーネスモードでは使用しないでください。本書の指示に従い、ブースターモードに切り替えてご使用ください。

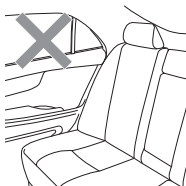
肩ベルトの高さを適切に調節できなくなった場合はハーネスモードでは使用しないこと

お子さまが成長して、ヘッドサポートを最も高い位置に調節してもお子さまの肩の位置が肩ベルトよりも高い位置になる場合はハーネスモードでは使用しないでください。本書の指示に従い、ブースターモードに切り替えてご使用ください。

自動車の座席への取り付け、固定

ハーネスモードで使用する場合は、あらかじめ本製品を3点式シートベルトで自動車の座席に取り付け、固定する必要があります。

本製品の固定には、3点式シートベルトを使用します。固定せずに使用することはもちろん、2点式、5点式シートベルトなど、3点式シートベルト以外のシートベルトや他の方法を用いて固定して使用することはできません。



⚠注意

お子さまを本製品に乗せたままで自動車の座席への取り付け、固定操作を行わないでください

本製品が正しく取り付け、固定できず、お子さまや、取り付け操作を行う方のケガにつながるおそれがあります。

安全のため、本製品の取り付け、固定操作時はお子さまを近づけないようにしてください。

👉ポイント!

以下は、自動車を正面から見て右側の座席で本製品を使用する場合を説明しています（右ハンドル車の助手席後ろ座席）。左側の座席で使用する場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。

01

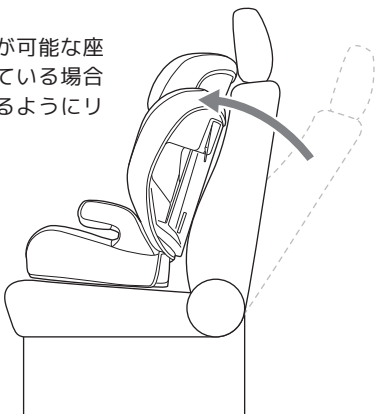
本製品を取り付ける座席に、本製品を前向きにして置きます。①ベースの底面がシート座面に、②シートバックがシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。

本製品をシートベルトやその他のものの上に置かないように注意してください。



02

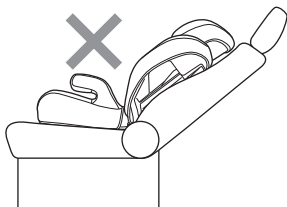
シート背もたれのリクライニングが可能な座席で、シート背もたれが倒れすぎている場合は、シートバックの角度に近くなるようにリクライニングを調節してください。



⚠危険

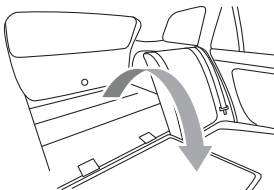
シート背もたれを倒した状態で使用しないでください

お子さまを適切に保護することができません。また、点式シートベルトの構造、仕様によってはリクライニングを倒した状態では本製品を正しく固定することができない場合があります。



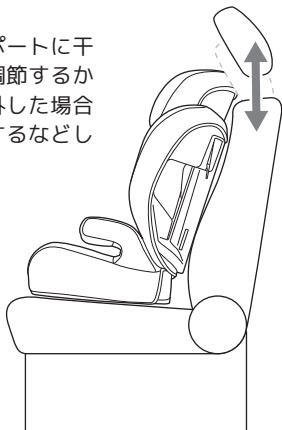
⚠警告

可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること
自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



03

自動車の座席のヘッドレストが、ヘッドサポートに干渉する場合はヘッドレストの高さや角度を調節するか取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合は、そのまま車内に置かずトランクに保管するなどしてください。



⚠ 警告

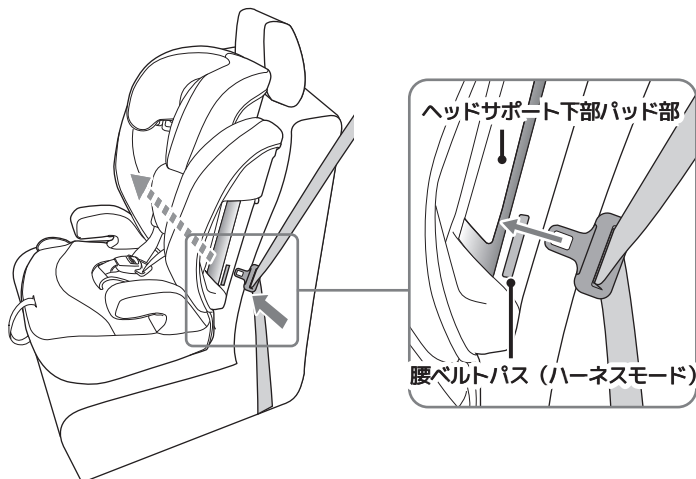
ヘッドレストに干渉した状態で使用しないこと
ヘッドサポートが自動車の座席のヘッドレストに干渉していると、本製品が正しく設置、固定、取り付けできず本製品が所定の安全性能を発揮することができません。
特に、ヘッドサポートを高く調節した場合にヘッドレストへの干渉が生じやすくなりますので、ヘッドサポートの高さを調節する場合は特にご注意ください。



04

シートベルトをゆるめて、ヘッドサポート下部パッド部に重ねないように注意してシートタングを腰ベルトパス（ハーネスモード）に差し入れて、反対側から抜き出します。

シート腰ベルトを緑色のマークの腰ベルトパス（ハーネスモード）の部分を通すようにします。



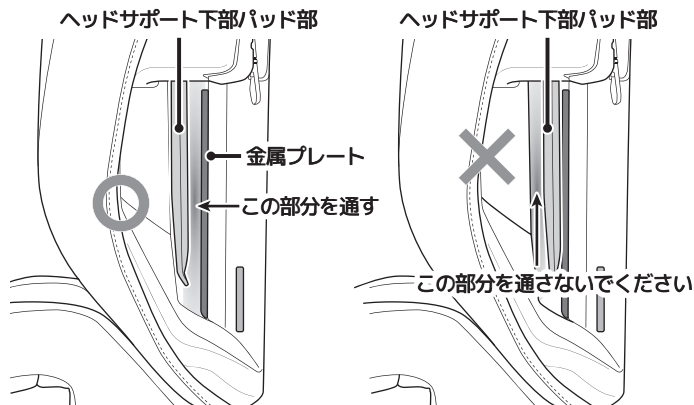
⚠ 危険

シートベルトをねじらないようにすること

シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

05

下図を参照して、シートタング（シートベルト）が正しい位置を通っていることを確認してください。



シートタングは、シートバック内側の金属プレートの上を通るようにしてください。ヘッドサポートの高さを調節をするとヘッドサポート下部のパッド部も上下に動きますので、ヘッドサポート下部のパッド部の上をシートタング（シートベルト）が通るとシートベルトがヘッドサポートを押さえつけてしまい、本製品が正しく機能しないおそれがあります。

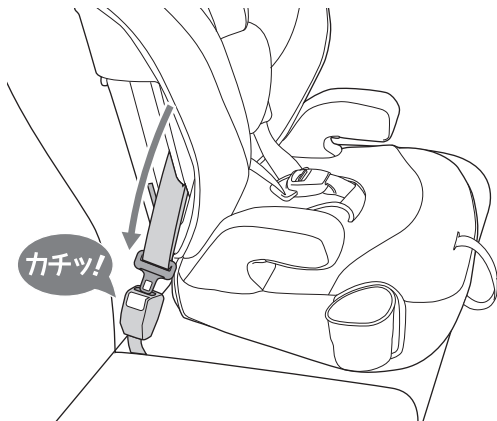
👉ポイント!

ヘッドサポート下部パッド部の部位が分かりにくい場合、ヘッドサポート下部パッド部はヘッドサポートの動きにあわせて動きますのでヘッドサポートを上下に動かしてみてください。

参照 P42-44 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

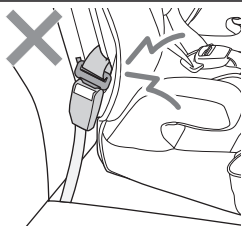
06

シートベルトにねじれがない事を確認して、シートタングをシートバックルにカチッと音がするまでしっかりと差し込んで留めます。



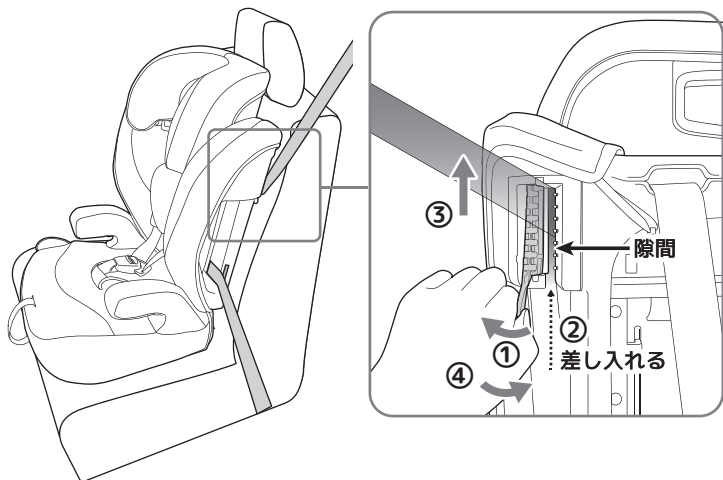
⚠危険

シートバックルが干渉する座席では使用しないこと
シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、腰ベルトパス（ハーネスモード）にシートバックルが干渉する場合、グラつきが生じるなどして本製品をしっかりと固定することができませんので、そのような座席では使用しないでください。



07

シートベルトの取り出し口側（シートバックルの反対側）の①ロックオフデバイスを開いて、②できた隙間にシート肩ベルトを差し入れます。③そのままシート肩ベルトをしっかりと上まで引き上げて、④ロックオフデバイスを閉じます。ロックオフデバイスはバネで開閉しますので、ロックオフデバイスから手を離すと自動的にシート肩ベルトを挟んだ状態で閉じます。



👉ポイント!

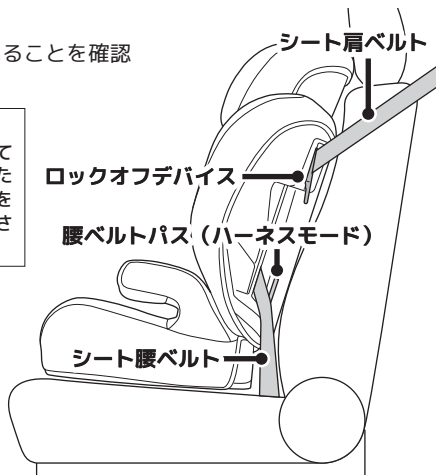
ロックオフデバイスにはシート肩ベルトのみを通します。シート腰ベルトは通さないでください。

08

右図のような状態になっていることを確認してください。

ポイント!

シート背もたれの角度によっては、シートバックがシート背もたれ側に倒れますが、以下の操作を行うことによりしっかりと固定されます。



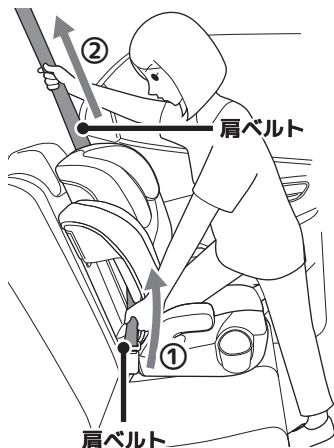
09

右図のように、片膝を本製品の座面部に乗せるなどして、本製品を強く座席の座面に押しつけながら、シート肩ベルトを引いて締めてください。シート肩ベルトは①、②の順で締めます。①のみを締めても本製品を強く固定できません。①を締めた後、続けて②を締めてください。できる限り強く締めるようにします。

ポイント!

受けバックルの上に膝を乗せないようにしてください。

シート腰ベルトを引いたり、シート肩ベルトと腰ベルトを両方つかまないように注意してください。シート肩ベルトのみを引き締めます。



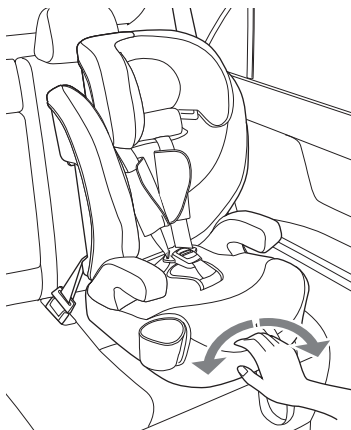
10

本製品がグラグラせず、しっかりと固定されていることを確認してください。グラグラする場合は、もう一度取り付けなおしてください。

👉ポイント!

自動車の座席が前後に動かせる場合、座席の構造によっては、本製品を取り付けた後で座席を前方に動かすと本製品の締め付けがより強くなる場合があります。

逆に、後方に動かすと、本製品の取り付けがゆるみますので、絶対に後方には動かさないでください。前後に関わらず座席を動かした場合は必ず本製品の取り付け状態を確認してください。



⚠️危険

しっかりと固定すること

本製品の取り付けがゆるいと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

⚠️警告

リクライニング操作、座席の移動操作に注意すること

取り付けがゆるむおそれがあります。本製品を取り付けた後で、自動車の座席のリクライニング操作をしたり、座席を移動させた場合は必ず本製品の取り付け状態を確認してください。

11

最後に、次のチェックリストを確認してください。

適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。



12

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品はそのまま車内には置かず、車外で保管してください。

お子さまの乗せかた、調節のしかた

ハーネスモードでは、お子さまは本製品のハーネスを装着します。

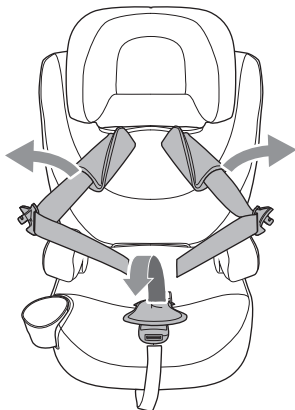
01

あらかじめハーネスをゆるめてバックルを外しておきます。以下の操作が行いにくい場合はさらにハーネスをゆるめてください。

参照 P42 ▶ハーネスの長さ調節▶02

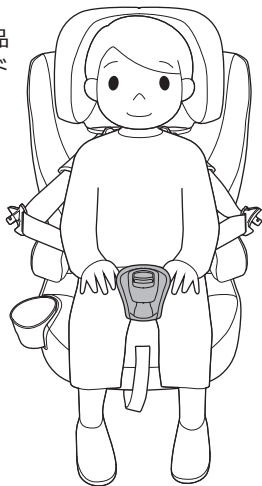
02

ハーネスの肩ベルトを外に出して、お子さまが踏まないように股ベルトパッド（受けバックル）を前方に倒しておきます。



03

お子さまを楽な姿勢にして腰を深くして本製品に座らせます。背筋を伸ばして股ベルトパッド(受けバックル)を両足の間に入れます。



👉ポイント!

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる

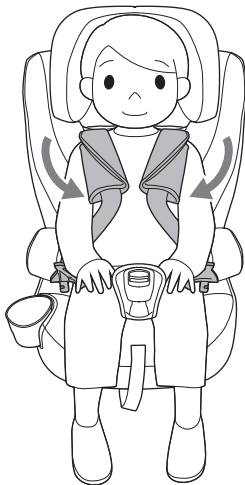


深すぎる

04

左右の肩ベルトをお子さまの腕に通します。
肩ベルトがきつい場合はハーネスをさらにゆるめてください。

参照 P42 ▶ハーネスの長さ調節▶02

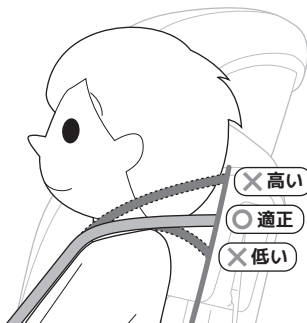


05

ヘッドサポートを操作して肩ベルトを適切な高さに調節します。

ハーネスモードの場合、肩ベルトはお子さまの肩の位置と水平の位置に調節します。お子さまの肩の高さよりも低い位置や高すぎる位置の場合、お子さまがハーネスから抜けるおそれがあります。

参照 P42-44 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節



⚠注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまの負担にならないように、少しお子さまを前かがみにさせて、やさしくゆっくりと操作してください。

👉ポイント!

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適切な高さになっているかを
使用毎に確認するようにしてください。肩ベルトの高さは、お子さまの成長に合わ
せて適宜適切に調節してください。

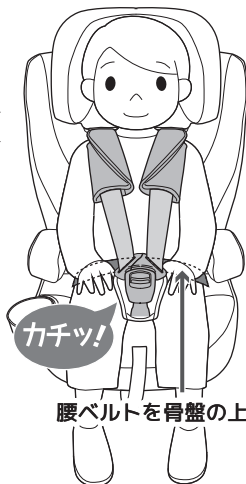
06

ハーネス（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）
にねじれがないことを確認してください。
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るよ
うに調節して「カチッ」と音がするよ
うにしっかりとバックルを留めます。

👉ポイント!

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを
留めず、ハーネスをゆるめてからバックル
を留めます。

参照 P42 ▶ハーネスの長さ調節▶ 02



腰ベルトを骨盤の上に通す

⚠危険

腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

腰ベルトが骨盤の上を通っていないと、事故や衝撃を受けた際に腹部や腿に過剰に
負担が掛かり重大な事故につながるおそれがあります。

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれ
があります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがな
いことを確認してください。

07

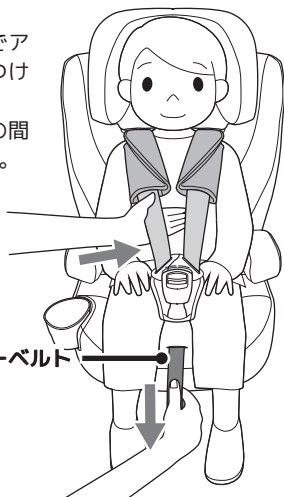
肩ベルトとお子さまの間に、掌を差し込んでアジャスターベルトをゆっくりと引いて締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間
に挟まれる程度まで締め付けるようにします。

ポイント!

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

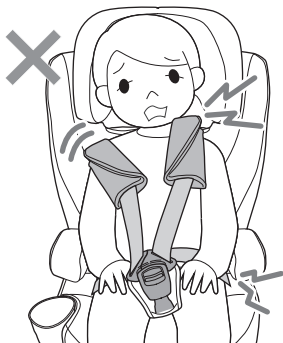
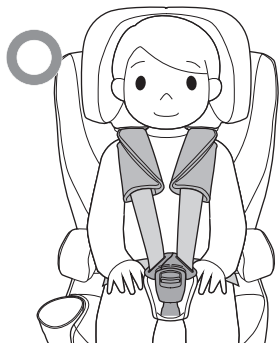
参照 P41-42 ▶ハーネスの長さ調節



08

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

正しい状態になっていない場合は、肩ベルトの高さと、肩ベルトと腰ベルトの位置を調節して、肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るようにしてください。



⚠危険

ハーネスは適切に調節すること

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

ハーネスは強く締まるほど、お子さまの保護も強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

ハーネスは正しい状態で使用すること

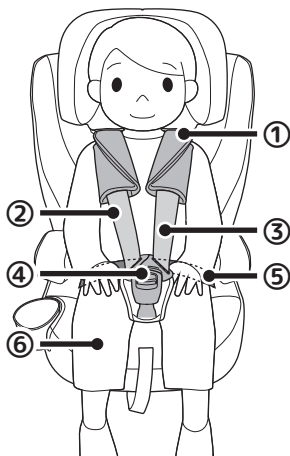
ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。ハーネスがゆるんでいたり、肩ベルトが腕の位置や脇の下、頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたり、ゆるんだりしていないか適宜確認するようにしてください。

09

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

🔍Check!

- ① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること。
- ② ハーネスが適切に締め付けられていること。
- ③ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれないこと。
- ④ バックルがしっかりと留まっていること。
- ⑤ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること。



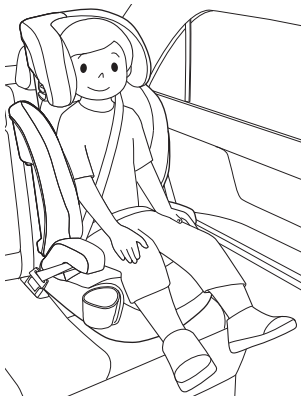
👉ポイント!

本製品のバックルは、お子さまには外しにくいように設計されていますが、安全のためお子さまにはバックルに触れないように言い聞かせるようにしてください。

10

お子さまを降ろす場合は、バックル（ハーネス）を外してお子さまの腕を抜き、ハーネスに引っ掛かったりしないよう注意して、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

ブースターモードで使用する



身長	100cm~150cm
体重	15kg~36kgまで
目安月齢	3.5歳頃~12歳頃まで（目安）
座席への取り付け	3点式シートベルト
お子さまの固定方法	3点式シートベルト

👉ポイント!

ハーネスモードとは異なり、ブースターモードでは本製品は自動車の座席に固定されません。このため、お子さまが使用しない場合は本製品は車内に置かずに車外に出して保管するか、または本製品が自動車の使用中に移動しないように適切な方法で固定しておいてください。

⚠️危険

体重 21.5kg を超えたらハーネスモードでは使用しないこと

お子さまの体重が 21.5kg を超えた場合はブースターモードに切り替えてご使用ください。

ブースターモードへの切り替え

ブースターモードで使用する場合は、本製品をブースターモードへの切り替え操作が必要となります。本製品をハーネスモードの状態にしたままブースターモードで使用しないでください。

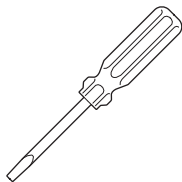
⚠注意

ブースターモードからハーネスモードへの切り替えはできません

ハーネスモードからブースターモードへの切り替え操作を行うと、元に戻すことはできません（ブースターモードからハーネスモードには戻せません）。また適合基準の規定により弊社にての修理対応もできませんのであらかじめご了承ください。本製品は身長 105cm、体重 21.5kg まではハーネスモードでご使用いただけます。

01

ハーネスモードからブースターモードへの切り替えには以下の工具が必要となります。あらかじめお手元にご用意ください。



マイナスドライバー



ハサミ

⚠注意

切り替え操作中は、お子さまを近づけないこと

お子さまがケガをするおそれがあります。ハーネスモードからブースターモードへの切り替え操作は、自動車内では行わず、室内の安全な場所で、お子さまを近づけないで行ってください。

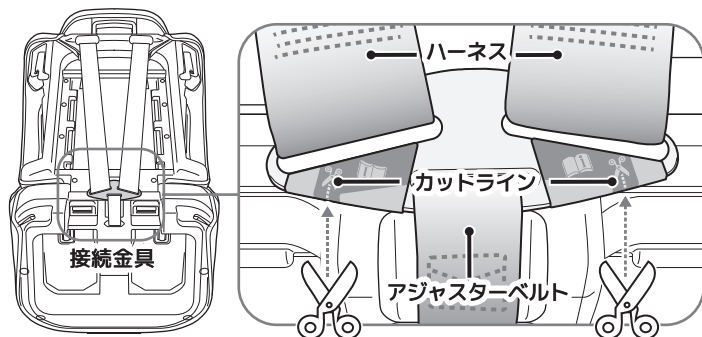
02

本製品が組み立てられていない場合（箱から出した状態など）は、あらかじめ組み立てておきます。

参照 P31-38 ▶組み立て

03

ベースとシートバック接合部の背面でハーネスとアジャスターベルトを繋いでいる接続金具に貼られているシールに表記されているカットラインに沿ってハサミで切り離します。左右とも同じようにしてください。ハーネスの手前まで切りませんのでハーネスを傷付けないように注意してください。

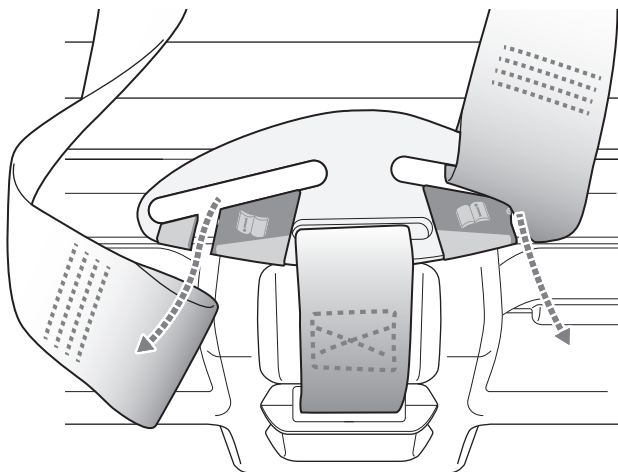


👉ポイント!

ブースターモードからハーネスモードに戻すことはできません。認証基準の規定によりシールをカットして接続金具から外してハーネスを外した場合、元に戻すことが認められておりません。あらかじめご了承ください。

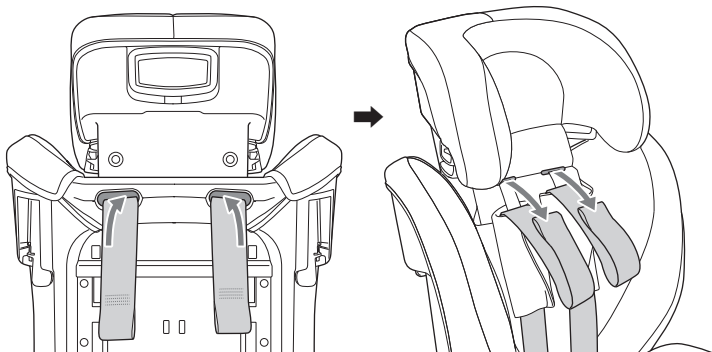
04

カットした接続金具の開口部から左右のハーネスを抜き取ります。



05

肩ベルトをシートバックの背面の通し穴に押し込んで前側に抜き取ります。
左右とも同じようにしてください。



 **ポイント!**

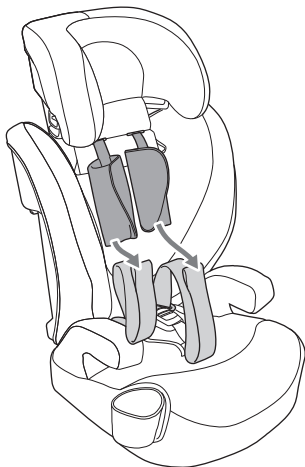
シートバックの表側から肩ベルトを引くだけでも抜き取りができますが、肩ベルトパッドを引いても抜き取りできませんのでご注意ください。

06

肩ベルトパッドから肩ベルトを抜き取ります。左右とも同じようにしてください。

 **ポイント!**

ズレを防止するため、肩ベルトパッドは肩ベルトとは接続されていません。肩ベルトパッドは筒状になっていますので、筒から抜くようにして肩ベルトを抜き取ってください。



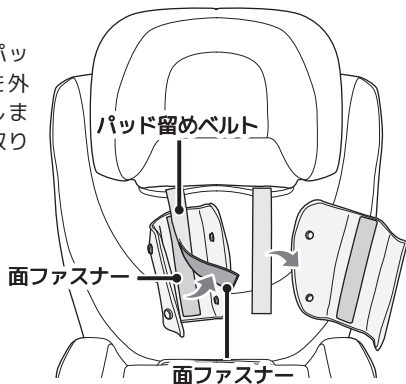
07

肩ベルトパッドのホックボタンを外して開きます。左右の肩ベルトパッドとも同じようにしてください。



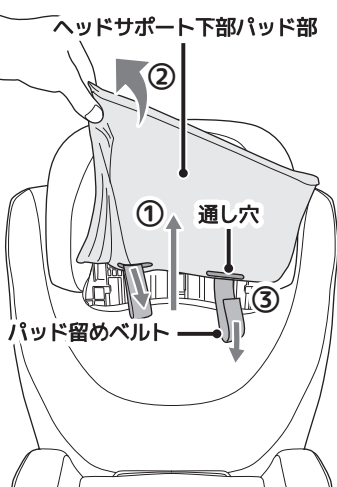
08

肩ベルトパッドを留めている、パッド留めベルトの面ファスナーを外して肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにして取り外してください。



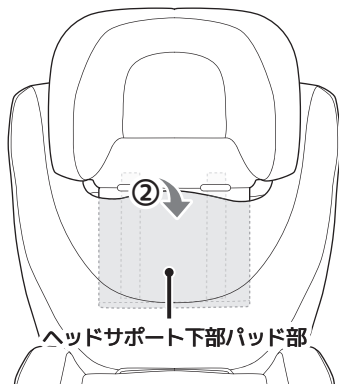
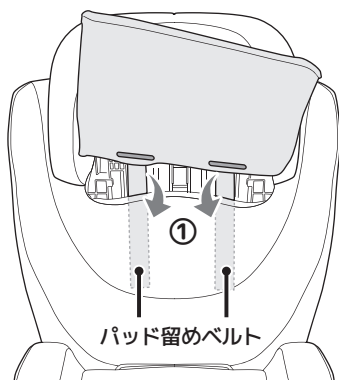
09

①ヘッドサポート下部パッド部を引き上げてシートバックのカバーから抜き出して②めくります。
③ヘッドサポート下部パッド部の通し穴からパッド留めベルトを抜き出します。左右とも同じようにしてください。



10

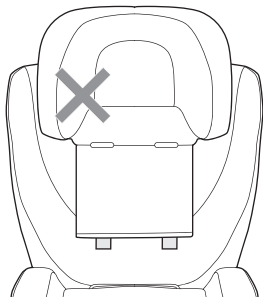
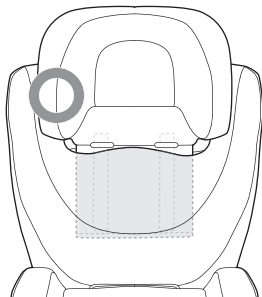
①左右の패드留めベルトをシートバックのカバーの内側に入れて、②ヘッドサポート下部패드部をシートバックのカバーの内側に戻します。



⚠注意

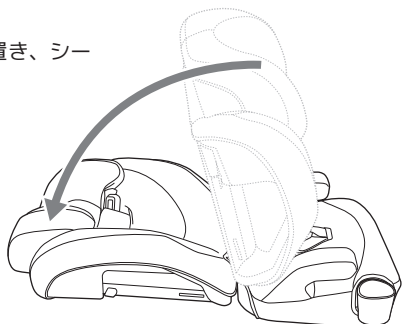
左右の패드留めベルトとヘッドサポート下部패드部はシートバックのカバーの内側に入れること

シートベルトに干渉するなどにより、おさまがシートベルトを正しく装着できなくなるおそれがありますので、左右の패드留めベルトとヘッドサポート下部패드部は両方ともシートバックのカバーの内側に入れておいてください。



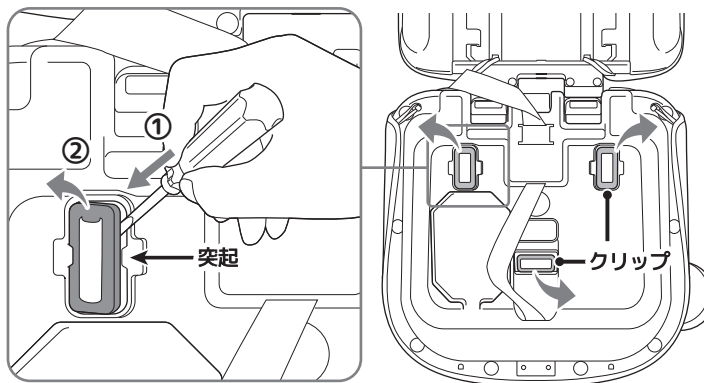
11

平らで安定した場所に本製品を置き、シートバックを倒します。



12

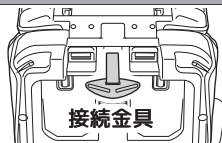
本製品を裏返して、ベース底面でハーネス（左右2カ所）、股ベルトをそれぞれ留めている金属製のクリップを取り外します。①クリップの隙間にマイナスドライバーを差し入れて、②クリップを突起部から外します。3カ所とも同じようにしてください。



⚠注意

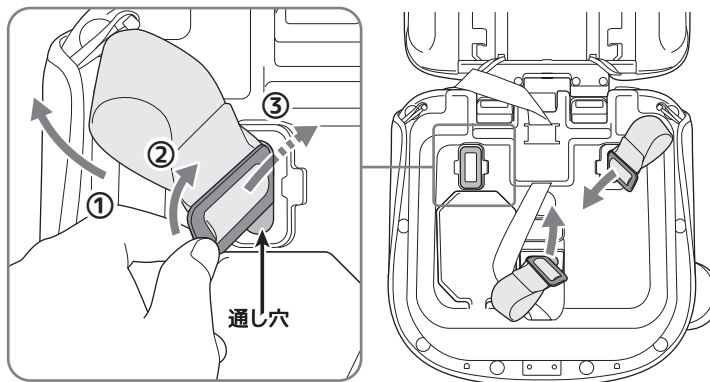
接続金具にご注意ください

シートバックに接続金具がぶら下がった状態になっています。接続金具があたるなどしてケガをしたり、物にキズを付けるおそれがありますので注意して操作してください。



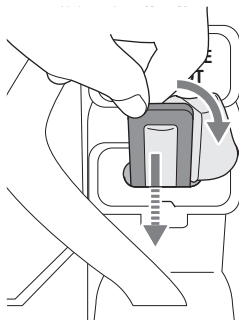
13

①クリップのベルト（左右のハーネスおよび股ベルト）を少し引き出して、②クリップを回転させて角度を調節して、③クリップをそれぞれの通し穴に押し込んでそのまま表側に出します。**股ベルトのクリップは押し込む際の角度によっては内部に引っかかるおそれがありますので、以下の注意を参照してください。**



⚠注意

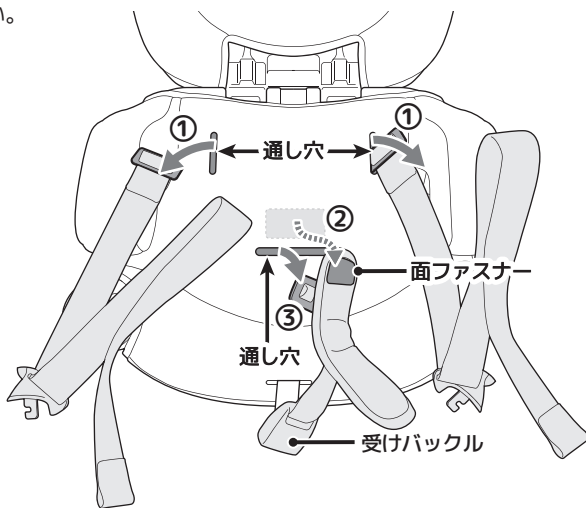
股ベルトのクリップは、縦横垂直にしまっ
すぐ表側に引き抜いてください
股ベルトのクリップがベース内部で引っかか
るおそれがあります。股ベルトのクリップは、
斜めにせず通し穴に対して垂直になるよう
に回転させて、まっすぐに押し込んで、その
ま表側に引き出してください。



14

①左右の通し穴からクリップ（ハーネス）をそれぞれ抜き取り、②股ベルトパッドをベースのカバーの内側で留めている面ファスナーから外して、③クリップ（股ベルト、受けバックル）と股ベルトパッドを抜き取ります。

①～③の操作の際に、ベースのカバーに引っかかった感じがする場合は無理に引き抜こうとせず、引っかかった部分を外してからそれぞれ引き抜いてください。



⚠注意

お子さまの手が届かないようにしておくこと

抜き取った左右のハーネスと股ベルト（受けバックル、股ベルトパッド）で、お子さまが遊んだりすると、窒息やケガにつながるおそれがあります。ハーネスと股ベルトはお子さまの手が届かないようにしておいてください。

廃棄する場合は、お子さまの手が届かないようにしてお住まいの自治体の規定に従って正しく廃棄してください。

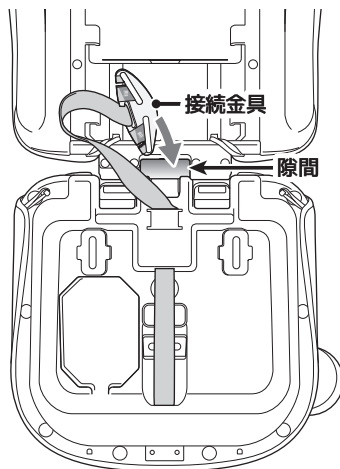
15

裏側でぶら下がった状態になっている接続金具を、シートバックとベースの接合部中央の隙間の部分から表側に抜き出します。

ポイント!

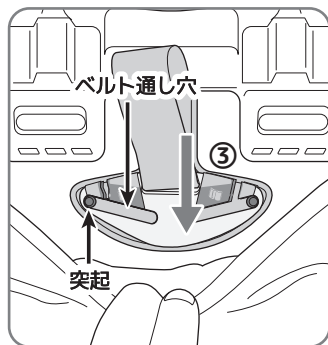
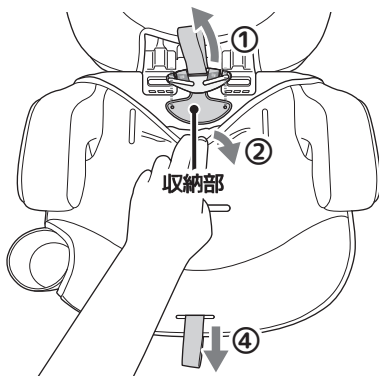
接続金具のベルト（アジャスターベルト）が短すぎて隙間に通せない、または16の操作ができない場合は、ベルトアジャスターを使用して接続金具のベルトをゆるめます。この場合、ベルトアジャスターを押し込みながら接続金具を持って引き出すようにしてください。

参照 P42 ▶ハーネスの長さ調節▶ 02



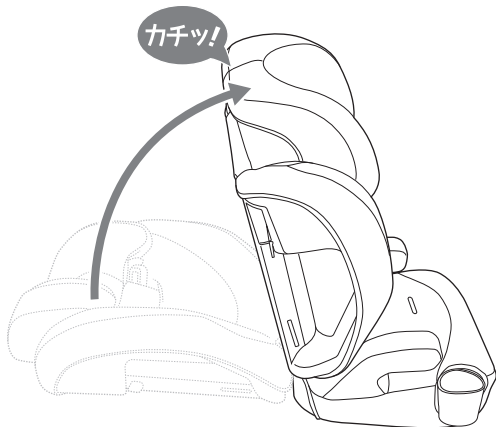
16

①そのまま接続金具を表側に引き抜いて、②ベースのシートカバー側の後部を収納部が現れるまでめくります。接続金具のベルトにねじれがないことを確認して、③接続金具のベルト通し穴と収納部の突起を左右それぞれ合わせて、接続金具を収納部に収めます。④アジャスターベルトを引いて、接続金具のベルトのたるみを除きます。



17

シートバックを立てておきます。



18

最後に、以下のチェックリストに従い、正しい状態になっていることを確認してください。

Check!

- ① 左右のハーネスが取り外されていること。
- ② 股ベルト（受けバックル）、股ベルトパッドが取り外されていること。
- ③ 接続金具が所定のベースの収納部に格納されていること。
- ④ 接続金具のベルトにねじれやゆるみがないこと。
- ⑤ 肩ベルトパッドが左右とも取り外されていて、パッド留めベルトがシートバックのカバーの内側に入っていること。
- ⑥ ヘッドサポート下部パッド部がシートバックのカバーの内側に入れていること。
- ⑦ ベースとシートバックが外れていないこと。



警告

間違った状態で使用しないこと

チェックリストを確認し、一つでも正しくない状態がある場合はそのままにせず、正しい状態にしてからブースターモードで使用してください。

間違った状態で使用すると、本製品が安全に機能しないばかりか、間違った状態が影響して重大な事故につながるおそれがあります。

特に、左右のハーネス、股ベルト（股ベルトパッド）、左右の肩ベルトパッドにご注意ください。これらのベルト類等は本製品から完全に取り外してください。これらがシートカバーの内側に入っていたりすると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなります。

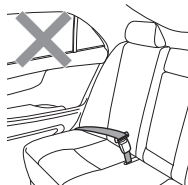
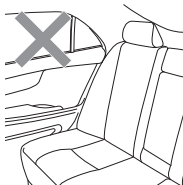
お子さまの乗せかた、調節のしかた

ブースターモードでは、お子さまは3点式シートベルトを装着します。

ポイント!

ブースターモードの場合、本製品を座席に設置してお子さまを座らせて3点式シートベルトを装着します。このため、お子さまが乗っていない状態では本製品は自動車の座席に固定されません。

3点式シートベルトを装備した座席でご使用ください。2点式、5点式シートベルトなど、3点式シートベルト以外のシートベルトや他の方法を用いて使用することはできません。



 **ポイント!**

以下は、自動車を正面から見て右側の座席で本製品を使用する場合を説明しています（右ハンドル車の助手席後ろ座席）。左側の座席で使用する場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。

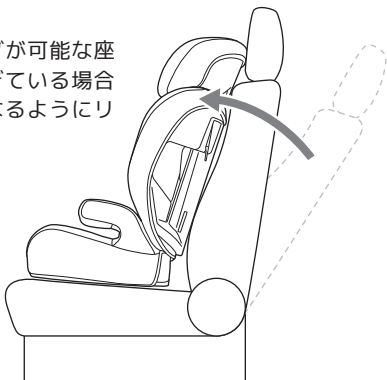
01

本製品を取り付ける座席に、本製品を前向きにして置きます。①ベースの底面がシート座面に、②シートバックがシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。本製品をシートベルトやその他のものの上に置かないように注意してください。



02

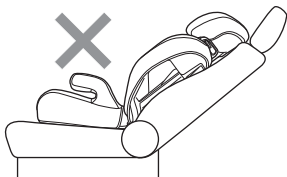
シート背もたれのリクライニングが可能な座席で、シート背もたれが倒れすぎている場合は、シートバックの角度に近くなるようにリクライニングを調節してください。



危険

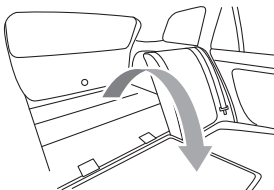
シート背もたれを倒した状態で使用しないでください

お子さまを適切に保護することができません。また3点式シートベルトの構造、仕様によってはリクライニングを倒した状態では本製品を正しく固定することができない場合があります。



警告

可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること
自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



03

自動車の座席のヘッドレストが、ヘッドサポートに干渉する場合はヘッドレストの高さや角度を調節するか取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合は、そのまま車内に置かずトランクに保管するなどしてください。



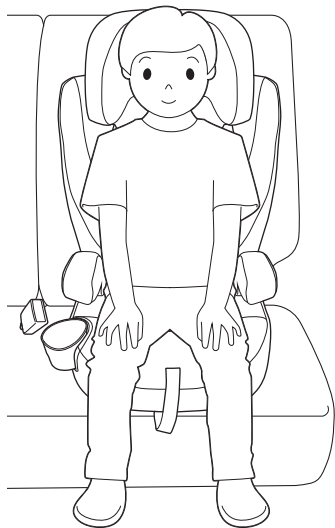
警告

ヘッドレストに干渉した状態で使用しないこと
ヘッドサポートが自動車の座席のヘッドレストに干渉していると、本製品が正しく設置、固定、取り付けできず本製品が所定の安全性能を発揮することができません。特に、ヘッドサポートを高く調節した場合にヘッドレストへの干渉が生じやすくなりますので、ヘッドサポートの高さを調節する場合は特にご注意ください。



04

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。腰を深くして、本製品の座面中央に座らせてください。



ポイント!

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



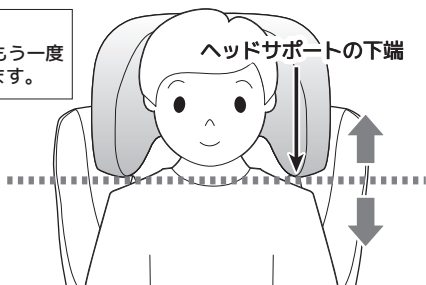
05

ヘッドサポートを調節します。ブースターモードの場合、ヘッドサポートの下端とお子さま肩の高さが同じになるように調節してください。

参照 P42-44 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

👉ポイント!

シートベルトを装着してから、もう一度肩ベルトガイドの高さを確認します。



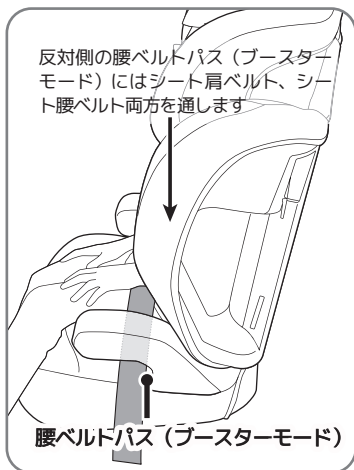
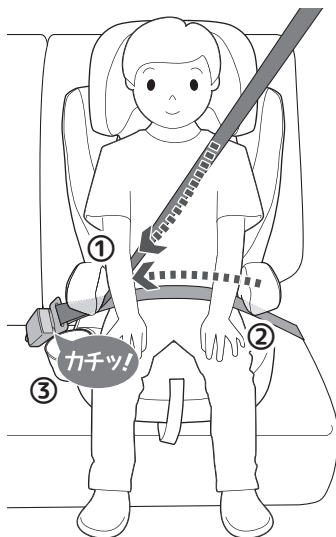
⚠️注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

ヘッドサポートの高さ調節はお子さまの負担にならないように、少しお子さまを前かがみにさせて、やさしくゆっくりと操作してください。

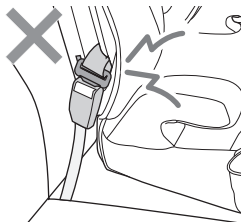
06

シートベルトをねじらないように注意して引き出して、①シートバック側緑色の部分の腰ベルトパス（ブースターモード）にシート肩ベルトとシート腰ベルトを通し、②自動車のドア側の腰ベルトパス（ブースターモード）にシート腰ベルトを通して、③シートバックルを留めます。カチッと音がしてしっかりとシートバックルが留まっていることを確認してください。



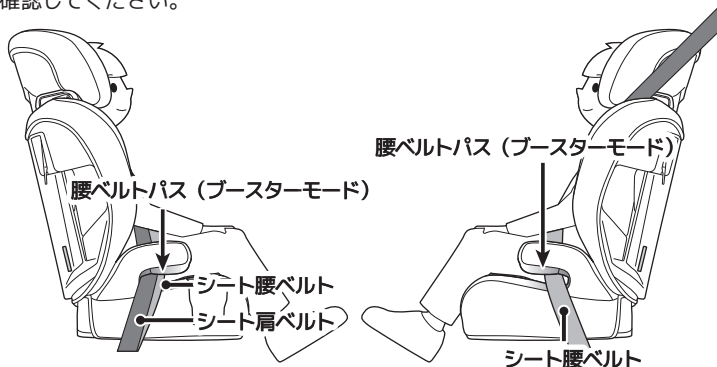
⚠危険

シートバックルが干渉する座席では使用しないこと
シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、腰ベルトパス（ハーネスモード）にシートバックルが干渉する場合、グラつきが生じるなどして本製品をしっかりと固定することができませんのでそのような座席では使用しないでください。



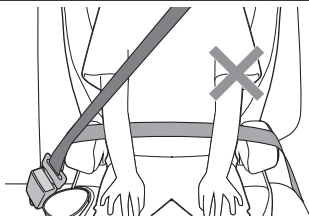
07

下図のように、シートベルト（シート腰ベルト、シート肩ベルト）が正しい状態で左右の緑色の腰ベルトパス（ブースターモード）を通っていることを確認してください。



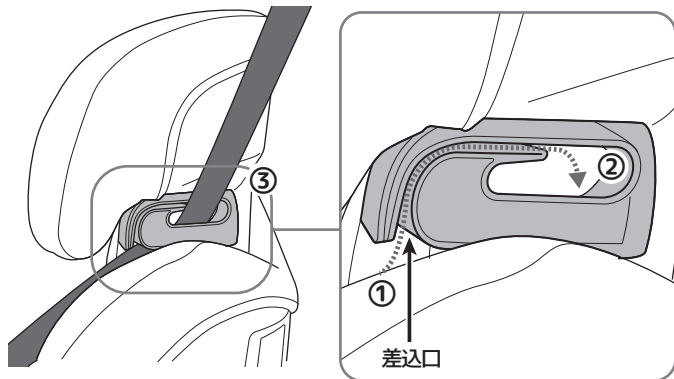
⚠危険

シートベルトは緑色の腰ベルトパス（ブースターモード）を通すこと
シートベルトが左右の腰ベルトパス（ブースターモード）を通過していないと本製品が安全に機能せず、大変に危険です。



08

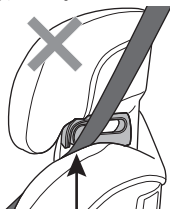
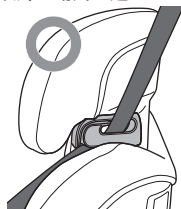
シート肩ベルトの取り出し口側（シートバックルの反対側）の肩ベルトガイド（緑色）に、シート肩ベルトを通します。肩ベルトガイドの下側の差込口から①シート肩ベルトを差し込み、②奥まで通して、③下図のような状態にします。



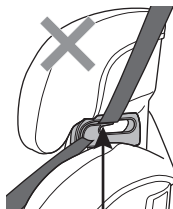
⚠危険

シート肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

事故や衝撃を受けた際に、シート肩ベルトが外れるなどして本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。シート肩ベルトを肩ベルトガイドの下側を通したり、奥まで通さずに使用しないでください。シート肩ベルトは、肩ベルトガイド以外の場所を通さないでください。



肩ベルトガイドの
下側を通っている



肩ベルトガイドの
途中で止まっている

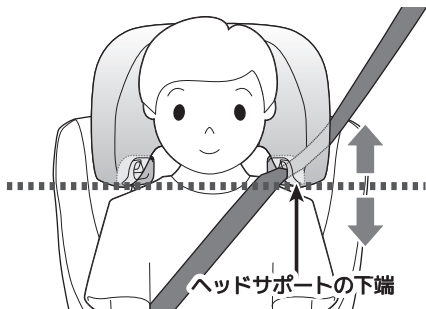
 **ポイント!**

肩ベルトガイドは左右のいずれか一方を使用します。右ハンドル車の助手席後ろの座席の場合（本図）は正面から向かって右側（シート肩ベルトの取り出し口側／シートバックルの反対側）を使用しますが、右ハンドル車の運転席後ろの座席の場合は、正面から向かって左側を使用します。

09

シート肩ベルトの高さが適切になっているか確認します。ヘッドサポートの下端をお子さまの肩の高さと同じになるようにしてください。

参照 P42-44 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節



危険

シート肩ベルトの高さを適切に調節すること

ヘッドサポートをお子さまの肩と同じ高さに調節することにより、シート肩ベルトの高さが適切な高さになります。シート肩ベルトが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したり窒息するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



10

シート肩ベルトが、左右で正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側、内側を通っている場合は、本製品の左右の位置やお子さまの座る位置を確認して正しい位置にします。シート肩ベルトは正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。



正しい位置

内すぎる

外すぎる

⚠危険

シート肩ベルトは、必ず正しい位置を通すこと

シート肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際にシート肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまがシート肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

シート肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドサポートの高さ調節や、お子さまの着座位置や本製品の位置を左右に微調整するなどしてシート肩ベルトが正常な高さ、位置になるようにして使用してください。

シート腰ベルトだけで使用しないこと

シート肩ベルト、シート腰ベルトの両方を正しく使用してください。2点式シートベルトでは絶対に使用しないでください。また、シート肩ベルトをシートバックの裏側に回したり、お子さまの背中側にするなどして、シート腰ベルトだけの状態にして使用してはいけません。

シート肩ベルトを正しく使用すること

シート肩ベルトをゆるめたり、脇の下を通したりしないこと。

お子さまを正しく座らせること

お子さまが前方にずれた状態（お尻を前にずらす）だと、シート肩ベルトがお子さまの首にかかり、お子さまの首が締め付けられるおそれがあります。

本製品使用中は、お子さまが正しい状態で座っているように注意して適宜状態を確認してください。

⚠警告

シートベルト用の市販のアクセサリ類を取り付けないこと

本製品に干渉し、安全に機能しなくなるおそれがありますので、シートベルトの長さを調節する器具やシートベルト用のパッド類などの市販のアクセサリ類を取り付けて使用しないでください。

11

①シート腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上にシート腰ベルトが通るようにします。②シート肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。

⚠警告

シート腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、シート腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通過していないと事故や衝撃を受けた際に内臓の損傷や骨折にいたる危険性が高まります。



12

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてください。

Check!

腰ベルトパス (ブースターモード)

シートバックル側 ドア側

①

カチッ!

②

③

④

⑤

- ① 左右の腰ベルトパス (ブースターモード) にシートベルトが正しく通っていること。
- ② シートバックルにシートタンクが確実に留まっていること。
- ③ シート腰ベルトにねじれやたるみがなく、お子さまの骨盤の上を通りしっかりと締められていること。
- ④ シート肩ベルトにねじれやたるみがなく、正しく肩ベルトガイドを通りかつ高さや位置が適切になっていること。しっかりと締められていること。
- ⑤ シートスロットにシートバックルが干渉する座席では使用しないこと。シートバックルのベルトが長すぎる (または位置が高すぎる)、シートバックルの位置が前すぎる場合、シートスロットに干渉するおそれがあります。

13

お子さまにはシートバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。お子さまがシートバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

警告

シートベルトは常に正しい状態で使用すること

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせて、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにして、本製品の操作は大人の方が行ってください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、シート肩ベルト（ヘッドサポート、肩ベルトガイド）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

14

お子さまを降ろす場合は、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。

ブースターモードの場合、本製品はお子さまが乗っていない状態では自動車の座席に固定されませんので、お子さまを降ろしたら本製品を車外に出すか適切に固定するなどしておいてください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためカバー類、パッド類を取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバー類、パッド類を元に戻してください。

警告

カバー類を取り外した状態で使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、カバー類を取り外して使用しないでください。またハーネスモードで使用する場合には、股ベルトパッド、肩ベルトパッドを取り外した状態でも使用しないでください。

本製品に取り付けられている発泡ウレタン等の衝撃吸収材（EPP / EPS フォーム 白い衝撃緩衝材）は安全に関わる重要な部品ですので、絶対に取り外さないでください。

また同様に、本製品に縫い付けまたは貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

カバー類を外した状態の本製品および取り外したカバー類はお子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部や隙間に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。お手入れ等のため、カバー類を外したら、取り付けなおすまでの間はお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

またカバー類、パッド類はお子さまの手の届かない場所でお手入れしてください。

注意

カバー類の取り付け、取り外しは、慎重に作業してください

カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。

本製品に取り付けてある発泡ウレタン等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。

カバー類、パッド類の取り外しかた

肩ベルトパッド

 **ポイント!**

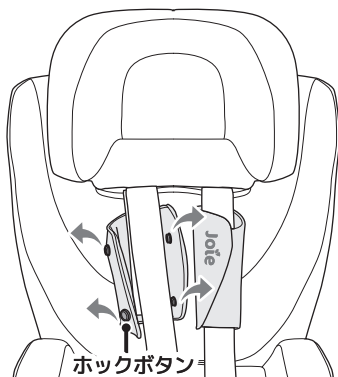
ブースターモードになっている場合、肩ベルトパッドは取り外されていますのでこの操作は必要ありません。

01

あらかじめバックルを外しておきます。

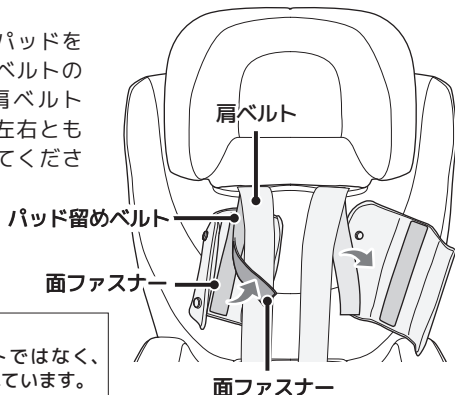
02


肩ベルトパッドのホックボタンを外して開きます。左右の肩ベルトパッドとも同じようにしてください。



03

肩ベルトの下で肩ベルトパッドを留めている、パッド留めベルトの面ファスナーを外して肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにして取り外してください。



 **ポイント!**

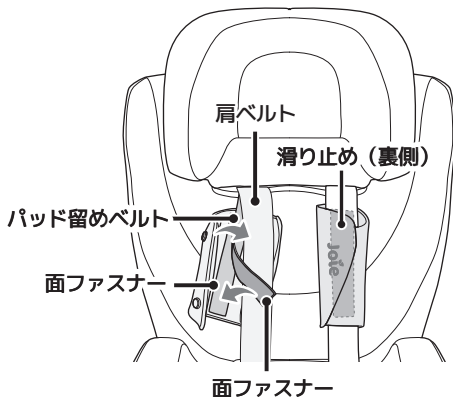
肩ベルトパッドは肩ベルトではなく、パッド留めベルトに固定されています。

04

取り付けは逆の手順で行ってください。

肩ベルトパッドには左右があります。下図のように Joie のロゴのある側を向かって右側にして滑り止めがお子さまの身体にあたる向きにします。

パッド留めベルトと肩ベルトパッドの面ファスナーの位置を合わせて、肩ベルトを包むようにしてホックボタンを留めます。



警告

肩ベルトパッドを取り付けること

ハーネスモードで使用する場合は、肩ベルトパッドは必ず取り付けなおしてください。

股ベルトパッド

ポイント!

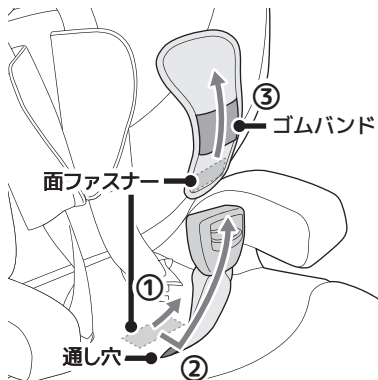
ブースターモードになっている場合、股ベルトパッドは取り外されていますのでこの操作は必要ありません。

01

あらかじめバックルを外しておきます。

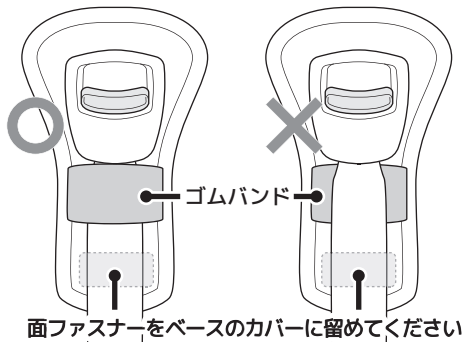
02

①ベースのカバーの内側で股ベルトパッドを留めている面ファスナーを外して、②通し穴から股ベルトパッド抜き、③股ベルト（受けバックル）を留めているゴムバンドを抜いて、股ベルトパッドを取り外します。



03

取り付けは逆の手順で行います。この際、必ずベースのカバーの内側に面ファスナーを合わせて股ベルトパッドを留めなおしてください。股ベルト（受けバックル）は、必ず股ベルトパッドのゴムバンドを通すようにしてください。



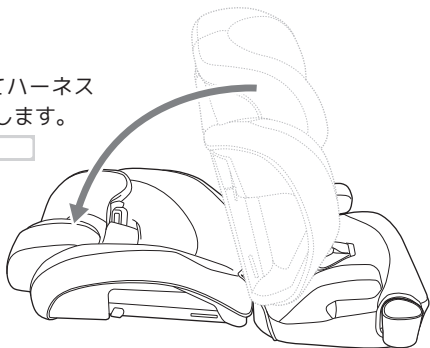
シートバックのカバー

01

あらかじめバックルを外してハーネスをゆるめ、シートバックを倒します。

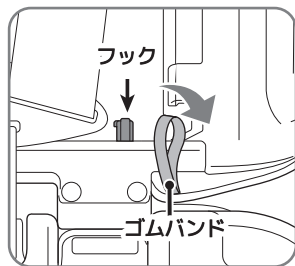
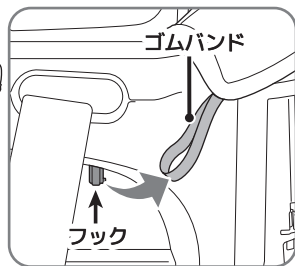
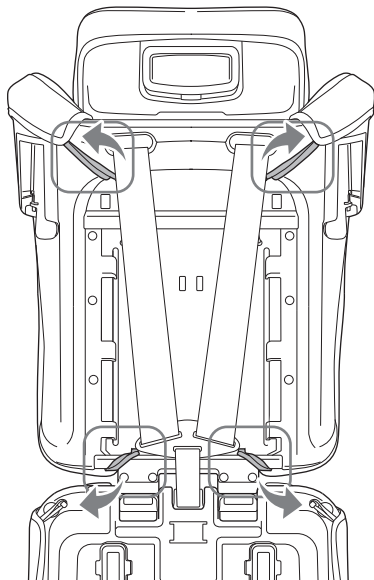
参照 P42 ▶ハーネスの長さ調節▶ 02

ポイント!
ブースターモードの場合はハーネスをゆるめる操作は必要ありません。



02

シートバックの背面、上下各2カ所（合計4カ所）に留めてあるカバーのゴムバンドをフックから取り外します。4カ所とも同じようにしてください。

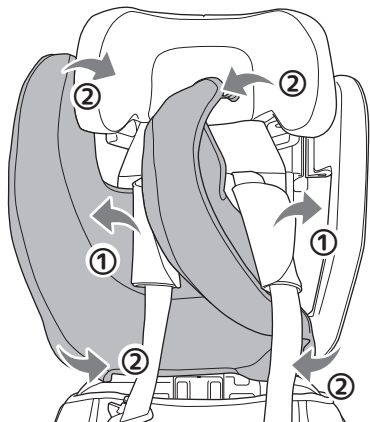


03

①シートバックのカバーを左右の肩ベルトから抜き取ります。②シートバックのカバーを前方に抜き取ります。

ポイント!

ブースターモードの場合は肩ベルト（肩ベルトパッド）を抜く操作は必要ありません。

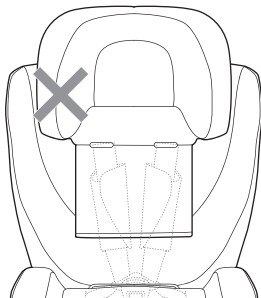
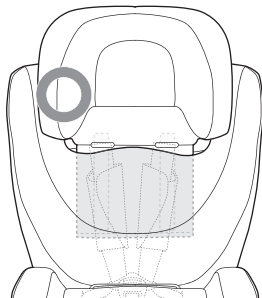


04

取り付けは逆の手順で行います。ハーネスモード、ブースターモードとも、ヘッドサポート下部パッド部をシートバックのカバーの内側にするよう注意してください。

注意

ヘッドサポート下部パッド部をシートバックのカバーの内側に入れること本製品の安全性能に影響をおよぼすおそれがありますので、ヘッドサポート下部パッド部は両方ともシートバックのカバーの内側に入れておいてください。



ヘッドサポートのカバー

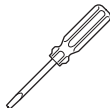
ポイント!

ハーネスモードとブースターモードでは、ヘッドサポートのカバーの取り外し、取り付けの手順が一部異なります。

ハーネスモードの場合の取り外しかた

01

取り外しの操作にはマイナスドライバーが必要になります。あらかじめお手元にご用意ください。



マイナスドライバー

02

あらかじめバックルを外してハーネスをゆるめ、シートバックを倒しておきます。

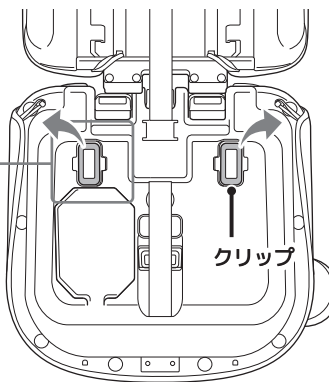
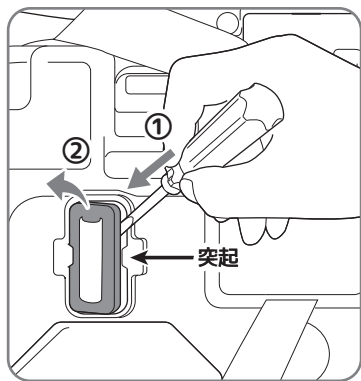
03

左右の肩ベルトパッドを取り外しておきます。

参照 P87-88 ▶カバー類、パッド類の取り外しかた▶肩ベルトパッド

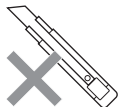
04

本製品を裏返して、ベース底面でハーネス（左右2カ所）を留めている金属製のクリップを取り外します。①クリップの隙間にマイナスドライバーを差し入れて、②クリップを突起部から外します。突起部にキズを付けないようご注意ください。



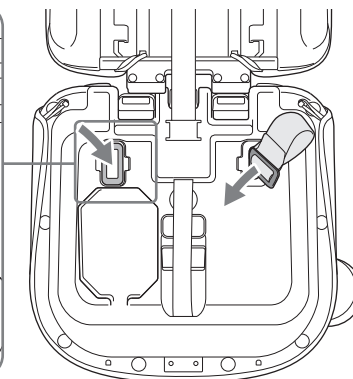
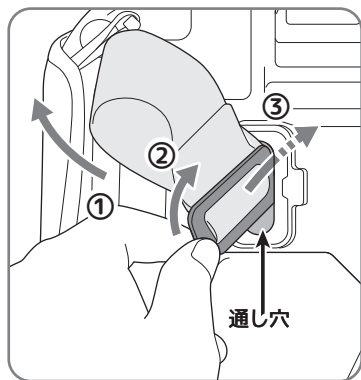
⚠注意

カッターナイフなどは使用しないでください
突起部を破損するおそれがあります。クリップの取り外しにはカッターナイフなどの刃先があるもの、鋭利なものを使用しないでください。



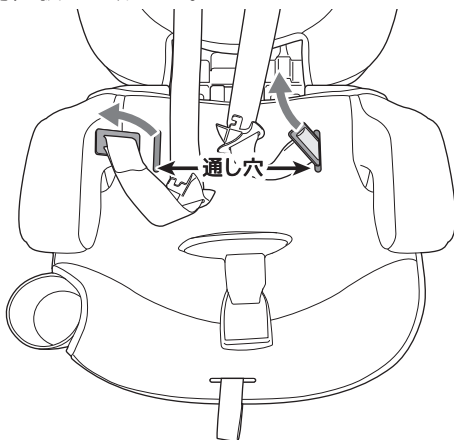
05

①ハーネスを少し引き出して、②クリップを回転させて角度を調節して、③クリップを通し穴に押し込みます。左右とも同じようにしてください。



06

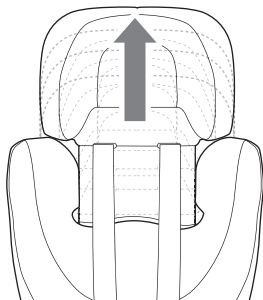
左右の通し穴からクリップ（ハーネス）をそれぞれ引き抜きます。カバーに引っかかった感じがする場合は無理に引き抜こうとせず、引っかかった部分を外してから引き抜いてください。



07

ヘッドサポートを最も高い位置に調節します。

参照 P43 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶01

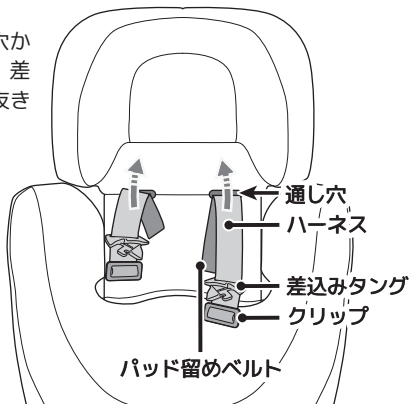


08

ヘッドサポートのカバーの通し穴からハーネス、パッド留めベルト、差込みタング、クリップを裏側に抜きます。

👉ポイント!

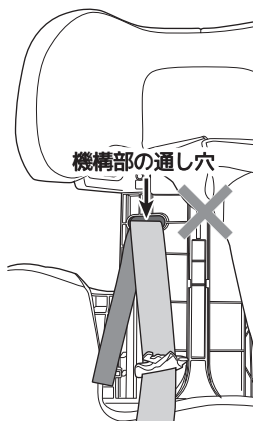
差込みタング、クリップが抜きにくい場合は無理をせず角度を調節するなどして抜いてください。



⚠️注意

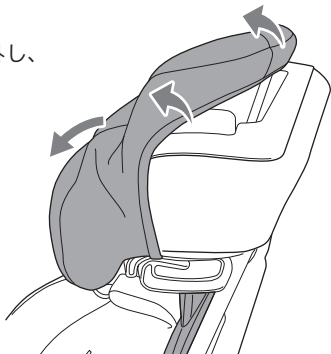
ヘッドサポートの機構部（樹脂部分）の通し穴からは抜かないでください

ハーネス、パッド留めベルト、差込みタング、クリップはヘッドサポートのカバーの通し穴からのみ抜きます。機構部（樹脂部分）の通し穴からは抜かないようにしてください。



09

ヘッドサポートの後部からカバーを外し、前方に抜き取ります。



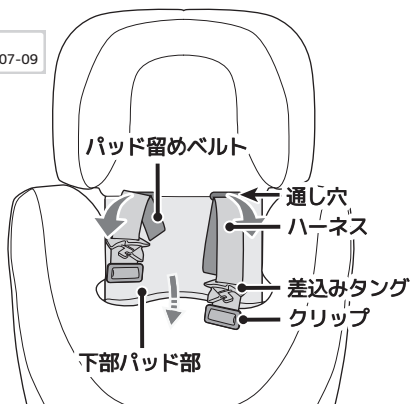
ハーネスモードの場合の取り付けかた

カバーの取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。ヘッドサポートのカバーを取り付ける際、以下の点にご注意ください。

01

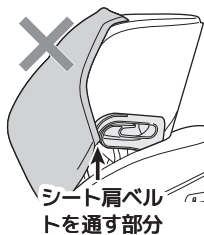
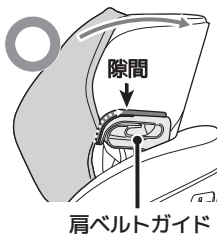
あらかじめ、「ハーネスモードの場合の取り外しかた」の 07-09 を逆の手順で行い、ヘッドサポートのカバーをヘッドサポートに取り付けて、ヘッドサポートの左右の通し穴にハーネス、パッド留めベルト、差し込みタング、クリップを通してヘッドサポートの下部パッド部をシートバックのカバーの内側に入れておきます。

参照 P94-95
▶ハーネスモードの場合の取り外しかた▶ 07-09

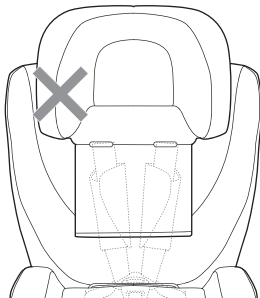
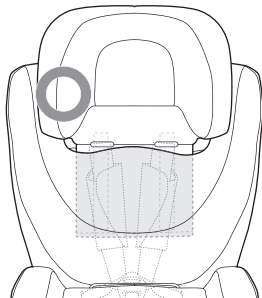


⚠注意

ヘッドサポートのカバーが肩ベルトガイドに干渉しないように注意すること
カバーを取り付ける際には、肩ベルトガイドの上部とヘッドレストの隙間に、カバーの縁を差し入れるようにして取り付けてください。ヘッドサポートのカバーが肩ベルトガイドに被っていたり、シート肩ベルトを通す部分にかかっているとシート肩ベルトを正しく装着することができません。



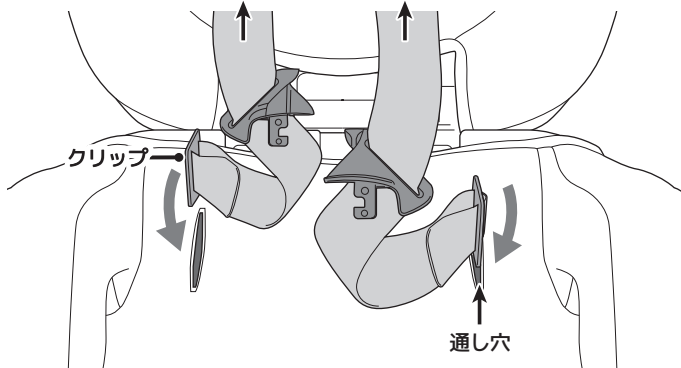
ヘッドサポート下部パッド部をシートバックのカバーの内側に入れること
本製品の安全性能に影響をおよぼすおそれがありますので、ヘッドサポート下部パッド部は両方ともシートバックのカバーの内側に入れておいてください。



02

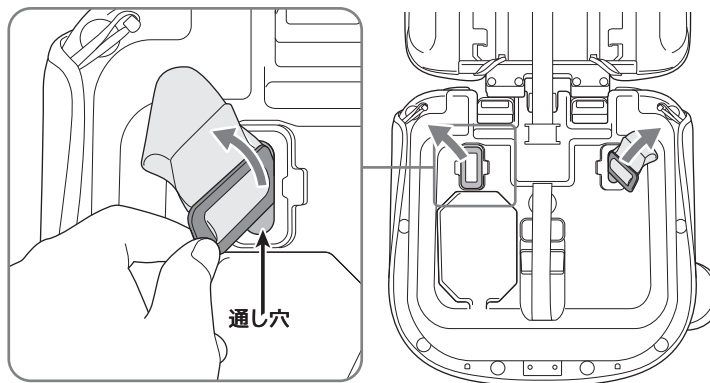
下図を参照してハーネスのクリップを通し穴に通してベースの底面まで通します。クリップの向きに注意してください。クリップの向きが間違っているとハーネスにねじれが生じます。

ハーネスにねじれがないことを確認



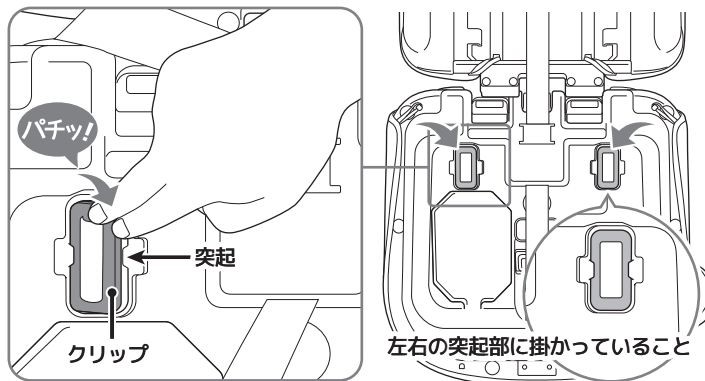
03

クリップの角度を調節して、ベース裏面の通し穴から抜き出します。左右とも同じようにしてください。



04

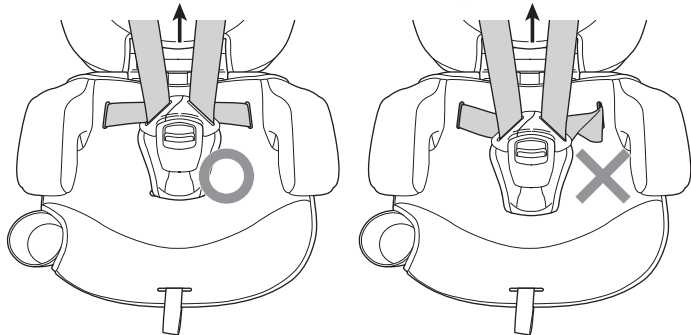
クリップが底面側まで抜けたら、そのまま本製品を裏返してクリップをしっかりと押し込んで左右の突起部にはめ込みます。パチッと音がしてクリップが左右両方の突起部に掛かっていることを確認してください。左右とも同じようにしてください。



05

ハーネスにねじれが生じていないことを確認してください。ねじれがある場合、クリップを外してもう一度操作をやり直してください。

上側のハーネスにねじれがないことを確認してください



⚠危険

ハーネスがねじれた状態で使用しないこと
ハーネスにねじれが生じたまま使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できず
に思わぬ事故につながるおそれがあります。

06

肩ベルトパッドを取り付けます。ハーネスモードの場合は必ず肩ベルトパッド
を取り付けて使用してください。

参照 P87-88 ▶カバー類、パッド類の取り外しかた▶肩ベルトパッド

ブースターモードの場合

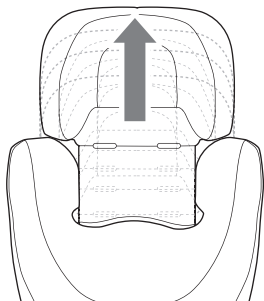
01

あらかじめバックルを外しておきます。

02

ヘッドサポートを最も高い位置に調節しま
す。

参照 P43 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶01

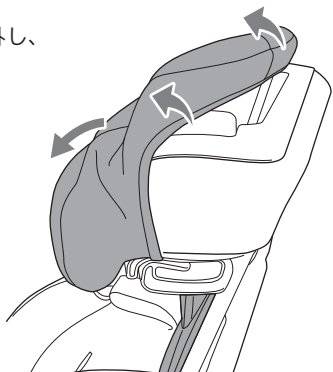


03

ヘッドサポートの後部からカバーを外し、
前方に抜き取ります。

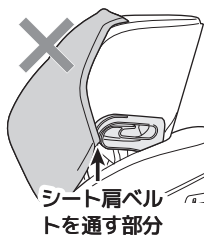
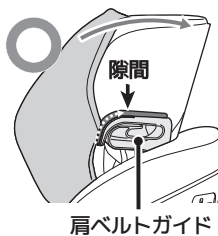
04

取り付けは逆の手順で行います。

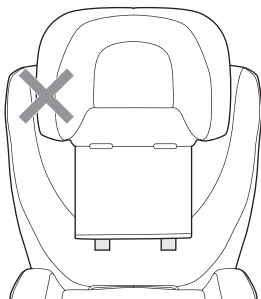
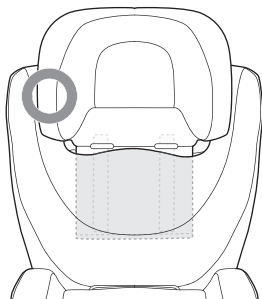


⚠注意

ヘッドサポートのカバーが肩ベルトガイドに干渉しないように注意すること
カバーを取り付ける際には、肩ベルトガイドの上部とヘッドレストの隙間に、カバーの縁を差し入れるようにして取り付けてください。ヘッドサポートのカバーが肩ベルトガイドに被っていたり、シート肩ベルトを通す部分にかかっているとシート肩ベルトを正しく装着することができません。



ヘッドサポート下部パッド部をシートバックのカバーの内側に入れること
本製品の安全性能に影響をおよぼすおそれがありますので、ヘッドサポート下部パッド部は両方ともシートバックのカバーの内側に入れておいてください。



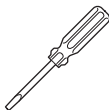
ベースのカバー

ポイント!

ハーネスモードとブースターモードでは、ベースのカバーの取り外し、取り付けの手順が一部異なります。

ハーネスモードの場合の取り外しかた

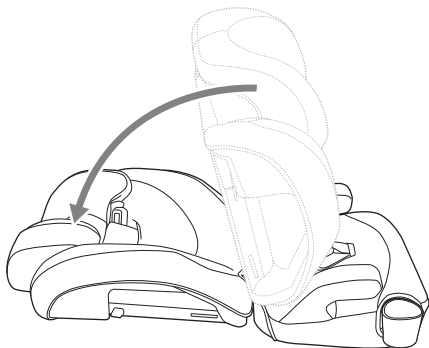
ハーネスモードの場合のみ、取り外しの操作にマイナスドライバーが必要になります。あらかじめお手元にご用意ください。



マイナスドライバー

01

あらかじめバックルを外してハーネスをゆるめてシートバックを倒しておきます。



02

股ベルトパッドを取り外しておきます。

取り外した股ベルトパッドはお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

参照 P89 ▶カバー類、パッド類の取り外しかた▶股ベルトパッド

03

以下の操作を行い、ハーネス（クリップ）をベースの底面から抜いておきます。

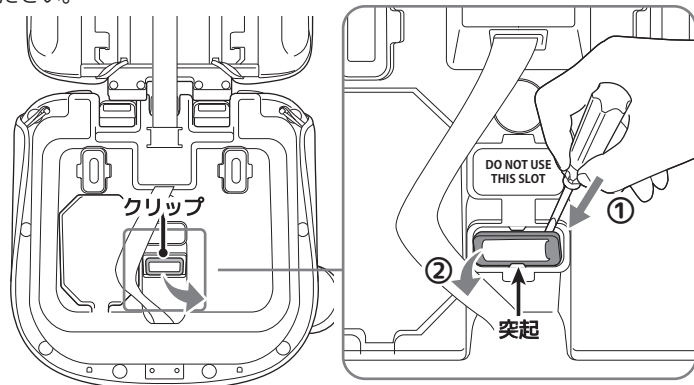
参照 P92-94 ▶カバー類、パッド類の取り外しかた▶ヘッドサポートのカバー▶ 04-06

 **ポイント!**

肩ベルトパッドを取り外す操作は必要ありません。

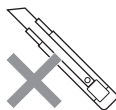
04

本製品を裏返して、ベース底面で股ベルトを留めている金属製のクリップを取り外します。①クリップの隙間にマイナスドライバーを差し入れて、②クリップを突起部から外します。突起部にキズを付けないようご注意ください。



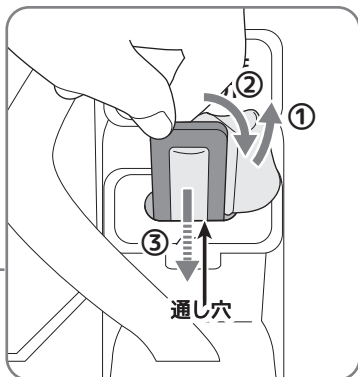
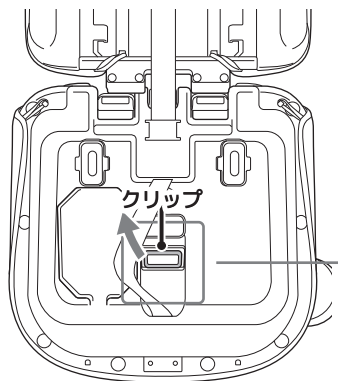
注意

カッターナイフなどは使用しないでください
突起部を破損するおそれがあります。クリップの取り外しにはカッターナイフなどの刃先があるもの、鋭利なものを使用しないでください。



05

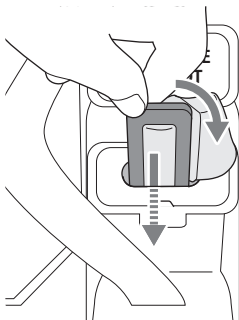
①股ベルトを少し引き出して、②クリップが通し穴に対して縦横垂直になるよう90°回転させて、③クリップを通し穴に対してまっすぐに押し込んで表側に出します。



⚠注意

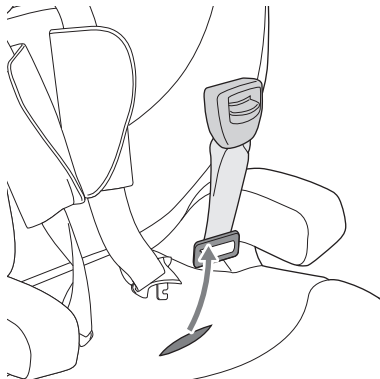
股ベルトのクリップは、縦横垂直にしてまっすぐ表側に引き抜いてください

股ベルトのクリップがベース内部で引っかかるおそれがあります。股ベルトのクリップは、斜めにせず通し穴に対して垂直になるように回転させて、まっすぐに押し込んで、そのまま表側に引き出してください。



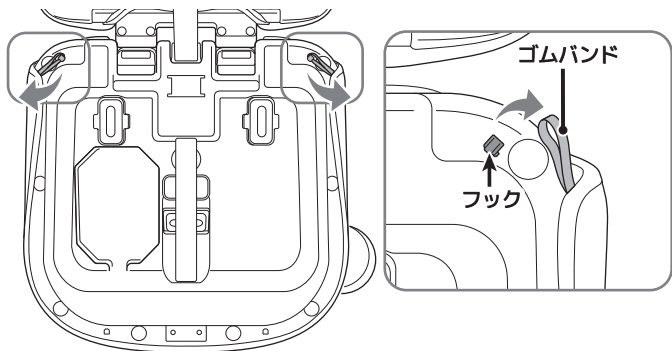
06

股ベルトを表側から抜き取ります。



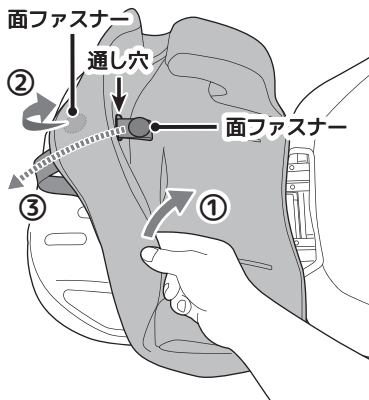
07

ベースの底面、シートバックとの接続部の左右2カ所に留めてあるカバーのゴムバンドをフックから取り外します。左右とも同じようにしてください。



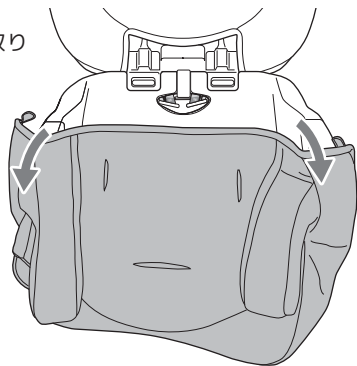
08

①ベースの先端部のカバーをめくり、②裏側でアジャスターベルトを留めている面ファスナーを外して、③アジャスターベルトをカバーの通し穴から抜きます。



09

ベースのカバーを前方に向かって取り外します。



ハーネスモードの場合の取り付けかた

カバーの取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。その際、ハーネス、股ベルトの取り付けに関して以下の点にご注意ください。

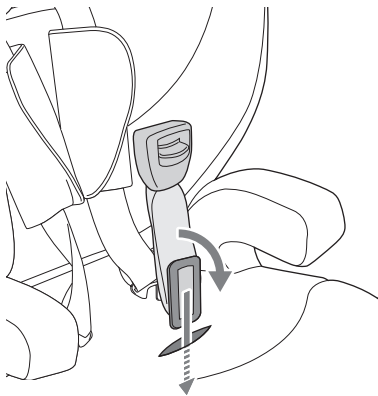
01

あらかじめ、「ハーネスモードの場合の取り外しかた」の07-09を逆の手順で行い、カバーを取り付けておきます。

参照 P105-106 ▶ハーネスモードの場合の取り外しかた▶07-09

02

股ベルトの受けバックルの向きを確認して、股ベルトのクリップを通し穴に対して縦横垂直になるよう90°回転させて、③クリップを通し穴に対してまっすぐに押し込んでそのままベースの底面まで抜き出します。



縦横垂直にしてまっすぐに通す

⚠注意

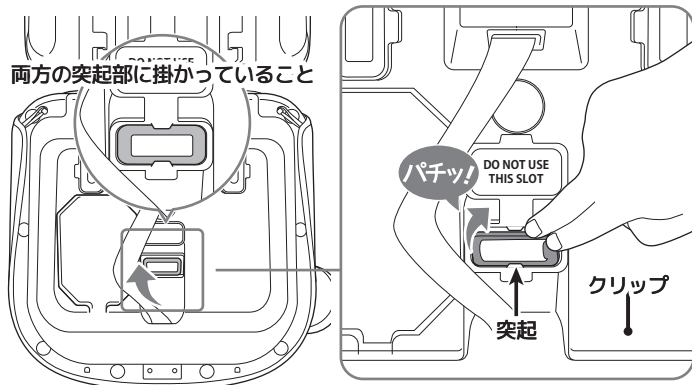
股ベルトのクリップは、縦横垂直にしてまっすぐ底面側に抜き出してください。股ベルトのクリップがベース内部で引っかかるおそれがあります。股ベルトのクリップは、斜めにせず通し穴に対して垂直になるように回転させて、まっすぐに押し込んで、そのまま底面側に引き出してください。

受けバックルの向きに注意してください

受けバックルはバックルリリースボタンが手前側になるようにしてください。

03

クリップが底面側まで抜けたら、そのまま本製品を裏返してクリップをしっかりと押し込んで両サイドの突起部にはめ込みます。パチッと音がして両方のクリップが突起部に掛かっていることを確認してください。



04

受けバックルの向きが正しく、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

⚠危険

ハーネスがねじれた状態で使用しないこと

ハーネスにねじれが生じたまま使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できずに思わぬ事故につながるおそれがあります。

05

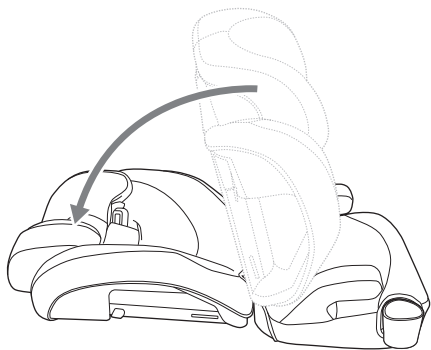
股ベルトパッドを取り付けます。ハーネスモードの場合は必ず股ベルトパッドを取り付けて使用してください。

参照 P89 ▶カバー類、パッド類の取り外しかた▶股ベルトパッド

ブースターモードの場合

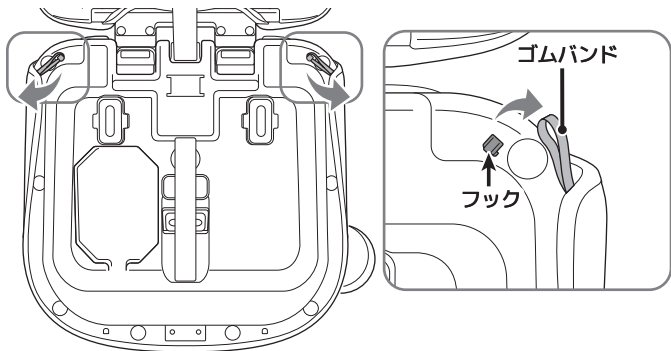
01

あらかじめシートバックを倒しておきます。



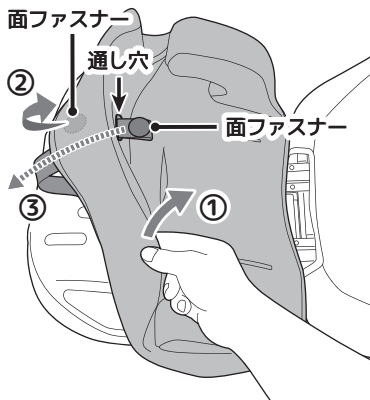
02

ベースの底面、シートバックとの接続部の左右2カ所に留めてあるカバーのゴムバンドをフックから取り外します。左右とも同じようにしてください。



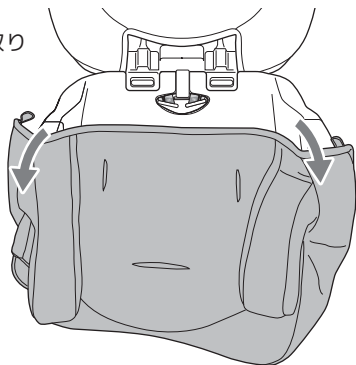
03

①ベースの先端部のカバーをめくり、②裏側でアジャスターベルトを留めている面ファスナーを外して、③アジャスターベルトをカバーの通し穴から抜きます。



04

ベースのカバーを前方に向かって取り外します。



05

取り付けは逆の手順で行います。

本体・ハーネス部のお手入れ

⚠危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れやメンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

樹脂部分（カップホルダー含む）・衝撃吸収材

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材は特にやさしくお手入れしてください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠注意

洗剤類、ウエットタオル類は使用しないでください

洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふきなどは使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。特に、衝撃吸収材は溶解するおそれがありますのでご注意ください。

金属部分（差込みタンク・受けバックルを除く）

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をよくふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビ、腐食の原因となり、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ハーネス・ベルト類・バックル

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。受けバックルの内部のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビ、腐食の原因となり、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

カバー類、パッド類のお手入れ

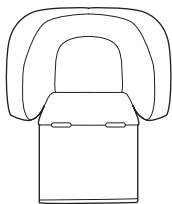
⚠注意

指定外の方法でお手入れしないこと

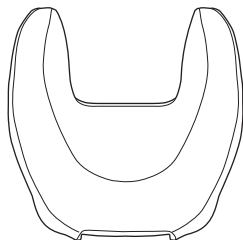
指定外の方法でお手入れすると、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

01

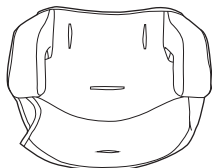
取り外したカバー類、パッド類は洗濯可能です。



ヘッドサポートのカバー



シートバックのカバー



ベースのカバー



肩ベルトパッド



股ベルトパッド

液温 30°を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）

洗濯機の容量、機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、30°以下の水温で手洗いしてください。

また、シートバックのカバーは変形するおそれがありますので、力が掛からないよう注意して洗濯してください。

肩ベルトパッドのホックボタンを留めてください

肩ベルトパッド内部の面ファスナーにより、生地を痛めるおそれがありますので、お手入れ時にはすべてのホックボタンを留めておいてください。

漂白剤は使用しないでください

劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

タンブラー乾燥をしないでください

破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機の使用）は避けてください。

しっかりと開いて陰干ししてください

型崩れしないようしっかりと開いて日陰で吊り干ししてください。

アイロンは使用しないでください

破損、縮み、生地が溶ける原因となります。

ドライクリーニングはしないでください

変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。

注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

02

カバー類、パッド類はよく乾かしてから取り付けてください。

除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌・抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無等をご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

直射日光を避けて、寒暖差および湿気の少ない室内のお子さまの手の届かない場所で保管してください。

雨風のアたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイナー・チャイルドシート エレベート R129		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒 -		住所
	お名前		電話番号
	電話番号	- -	-

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・お客様のご購入を証明することができない場合
 - ・本取扱説明書および製品本体に記載されている指示内容に従わなかったために生じた故障、破損、不良の場合

- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製品のほつれの場合
 - ・ 部品の紛失の場合
3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
- ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・ 中古品の場合
 - ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトーシ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトーシ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シートを貼り付けてください

Allison GmbH
Adam-Opel-Straße 21 67227
Frankenthal

Joie™

bring the kids™

Share the joy at joiebaby.com

0623RV0